

島だより 第4週

くるくる

みなさま

夏ももう終わりですね。いかがお過ごしでしょうか。

コラム島4週めのお題は奇策「くるくる」。
44作品の作品ラッシュに目を回しながら、
島民一同、がんばって読んで議論して投票しました。

全作品リストと投票結果、ベスト15作品とそれへのコメント、そして全作品講評の「まじょコメント」をお届けします。

ラストお題は「時」です。49作品エントリー中。
結果は来週。最後の覇者は誰?? お楽しみに。

今週のお題

開催中： 時

投稿受付中： 時

Column Land

■いよいよ最終セッションです！

■「時」のコメント&投票期間は9月26日水曜日朝6時までです。これで最後、たくさんコメントくださいませ。

■オフラインセッションのお知らせは掲示板370へどうぞ。

コンテスト会

コラム掲載ペ

コラムアーカ

プロフィール

自己プロフィ

BBS

まじょコメン

テーマ：くるくる

投票総数：174件

順位	ポイント	投票数	作品タイトル	作成者	作者コメント	コメント数
1位	28	13	早い者勝ちっ！	結政	有	22
2位	21	8	くるくる、売ります。	attena in USA	無	20
3位	20	9	weather cock	こっくん	無	33
	18	10	永久回転奇行	神無月	無	23
	17	8	指に絡めて	Begonian	無	33
	15	7	クロ	RincO	無	15
	15	8	Column of the word and the sound	E i s e n	無	29
	14	6	ザ・ワールド	ばっは	無	42
	14	9	金が高騰すれば整体師が儲かる！？	忠犬ヤス公	無	29
	14	6	夏の夜に、紫の雲、細くたなびく	colt	無	29
	13	7	恋の○角関係	lily	無	24
	13	7	思い込みの激しい人形のお話	弟子	無	14
	11	5	くるくる一番星	木星/dx	無	17
	11	5	車の止まるとき	やまのかめさん	無	24
	10	4	茨姫	茜	無	14
	9	5	his loop (and perhaps, ANOTHER side of "hers")	kiku	無	13
	8	4	低き土地	otacom	無	13
	7	3	残酷だけど、優しい神様	key	無	14
	7	3	かざぐるま	mendel	無	13
	7	3	幸せの窓辺で	わがし	有	11
	7	3	エリも、好きに生きてよかったんだよ	melonsan	無	15
	7	3	変わる一日 変わらぬ日常	あそびにん LV. 2 1	無	13
	6	3	花火	Tohma	無	24
	5	2	アンティークオルゴール私。	鞆鞆	無	13
	5	3	摂政の苦悩	ラ	無	11

5	3	くるりの前と後	にび	無	19
5	3	くるくる回れ	カケラ	無	18
5	3	祖父の言葉	きしと	無	16
4	2	at one's leisure	橘	無	12
4	3	まわる一日	zoo	無	15
4	2	ある夏の夜の出来事	blue-orange	有	19
3	3	助言を求めて	ねがいびと	無	38
3	2	歯車は回り続ける	朱雀	無	12
3	2	季節の変わりめ	さむらす	有	28
2	1	くるくる旅行	こえい	無	13
2	2	来る来るきつと来る逢いに来る	八剣	無	17
2	1	時差	赤ずきん	無	24
2	1	Twiddle	ゆーべる	無	17
1	1	風輪	He	無	11
1	1	子供たちは成長を拒み、その場で回り、そして、歌い続ける.....	一分間	無	13
0	0	苦悩	ルンタッタ～	無	14
0	0	Beauty of The...	エスィフィア	無	14
0	0	夏休みも中盤。	ふじさき	無	11
0	0	ある日・・・	地紅晴酸	無	17

今週のお題

開催中： 時

投稿受付中： 時

Column Land

- いよいよ最終セッションです！
- 「時」のコメント＆投票期間は9月26日水曜日朝6時までです。これで最後、たくさんコメントくださいませ。
- オフラインセッションのお知らせは掲示板370へどうぞ。

コンテスト会

コラム掲載ペ

コラムアーカ

プロフィール

自己プロフィ

BBS

まじょコメン

早い者勝ちっ！

総合順位：1位
合計ポイント：28 Point
作者：結政
[作者コメントを読む](#)

以下の7桁の数字

4526729

4529893

4594109

これ、全部「くるくる」なんです、何なんでしょう？

実は、これらすべて、「くるくる」で登録された
登録商標の番号なんです。

商標とは、商品名やマークのこと。
もちろん、図形、記号なども含まれます。
特許庁にこれらの商標を申請して、登録されれば
これらを独占的に使うことができます。

ならば、同じ名前の商標がいくつもあるのに疑問かもしれません。
実は、商標権には類似範囲というものが決められています。
同じような商品についてしか独占使用が認められていないと考えてください。

すこし、登録商標を使って遊んでみましょう。
まずは、これら「くるくる」から。

かの任天堂が取った商標くるくる（第4529893号）の範囲は
遊戯用器具，囲碁用具，将棋用具，さいころなど。
任天堂はもともと花札、囲碁、将棋、などを作っていた会社ですし
ある意味納得。

久光製薬も第4594109号で取得。
こちら、薬剤、医療用機械器具などで取得してます。

さらに、松下電工だって第4666879号で家庭用電熱用品類の登録をしています。

さて、だからといってこれらの商品がそのままあるかと思うと大間違い。
これらは商品がなかろうがあろうが、これらの会社が自由に使える権利。
しかも、早い者勝ちです。とりあえずとっとけという感じなのでしょう。
もちろん、これらの商標を使いたければ、これらの会社にお金を払わなくてははいけません。

任天堂なんか、「カンタン＼あんしん＼無料」という商標(第4943346号)も取ってますしね。
(これはマークですけども、範囲がすごく広い)
先に持っておけば有利ってことなのでしょう。

ほかにも、商標はいろいろありまして、
一昔前には、「阪神優勝」という商標が話題になりました。
これは、結局争って無効になったんですが、「優勝」という商標は存在し(第4461157号)
広告では勝手に使っちゃいけないそうです。

ちなみに、意外にも「油性」が付く登録商標が存在しないのに
「水性」が付くものはたくさんあったりするみたいでいろいろ面白いですね。
世の中油性は嫌われ者ってことでしょうか・・・？
いろいろ面白いものです。

ここまで見てきたこれらの商標ですが、実は誰でも申請することができます。
商品があってもなくてもかまいません。商品名やマークさえあればよいのです。
もし、先に権利を抑えれば、ロゴを会社にも買ってもらったり、権利収入が入ってくるかも。

ただし、なんでも登録できるわけではなく、条件はあります。

まず、地名や一般的な呼称はだめです。
何が「一般的」なのかは、特許庁、争った場合は最終的に裁判所が決めます。

ほかに、ありふれた名称、たとえば、鈴木酒屋など、はだめ。
公序良俗を乱すようなものや、卑猥な言葉などもだめです。
当然ですが、あらかじめ登録されているものや、それに類似するものもだめ。
結構厳しいですね。

ただ、先ほど挙げた、「阪神優勝」のように、これらの条件を満たしても
抗議を受けた特許庁が、商標を無効とすることもできますので要注意。

ちなみに、その理由は
「商標中の「阪神」が、球団名「阪神タイガース」の略称としてよく知られていて、
商品に使用された場合、製造、許可したのが球団であると、
消費者に誤解させるおそれがあるため」だそうです。
だから、「優勝」は認められてるんですね。

身近に使っている言葉も権利を抑えられている！なんて思いもよらないでしょう。
おちおち商品名に普通の名前もつけられない時代、
ネーミングにも創作性みたいなものが求められてるんでしょうかね。
いやな時代になったな.....と思うのは私だけでしょうか。

作品に対するコメントを下さい。

投稿者

コメント

key 9/10 10:32	今まで読んだ物語とか詩じゃないコラムの中で、一番よく出来ていると思う。ほうほうそうなのか、と真面目に読みました。
わがし 9/10 13:37	油性がつく商標がないというのが驚き！ 油性マジックとかあるけど、あれは商標じゃないのかあ 体操服に名前書く時濡らして描かないと滲むんですよ
さむらす 9/10 16:20	うはっ、そうなんですかぁ。 めんどくさい世の中だなあ。
鬼 おん 9/10 19:11	なかなかためになるコラムですね。 発想、着眼点がよく面白かったです。
RincO 9/11 5:38	コラムだけど読みやすい文章です。 タメになります！！
あそびにん LV.2 1 9/11 15:26	ああ、類似範囲だけは知らなかったけど、後は知ってた…。サロンパスに対して、マロンパスだのロマンパスだの類似品撲滅のために思いつく限りの近い名前を登録するなんて話をかなり昔に聞いたことあるしね。登録商標もいろんな使い道が。 どうでもいいけど、登録商標を使って遊んでみましょうでどう遊ぶんだろって妙にワクワクしてしまったあそびにんがここに。結局、紹介で終わってちょっとがっかりしちゃった。 嫌な時代になったってのは同意だけど、その結論に持っていくのなら、もっとそんなのまで登録商標化してるのかよ！ってものを例として紹介したほうがよかった気がする。最後の例が阪神優勝で、しかも無効にされてるから結局統制が働いてるんだって思わせる展開だと思うんだよね。その辺の例の選び方を工夫するともっとよかったかも。
茜 9/11 19:53	商標ってこんなものですよって紹介コラムでしょうか？ もう一步突っ込んで、最後の「いやな時代」についてちゃんと語ってみるとか、こんな変な商標がある！って面白いものを探してみるとか、してみたら面白かったかも。 > あそさん > ロマンパス なんか、乗り物の切符にありそうな名前ですね。
pencha 9/13 14:58	商標ってヤヤコシイ…広告出す時に気をつけなきゃいけないってことですよね…。文章に吸い込まれるようにスラスラ読めました。 とても読みやすく、内容の充実したコラムだと思いました。
きしと 9/13 22:10	んーなるほど 出す側の人間じゃないから知らなかったですけど、 広告とかって、言葉を選ばないと出すのが難しいのですね。 いつか自分も商標のめんどくささを思い知る日が来るのだろうか……
ほろほろ 9/14 2:43	いわゆる一般的な意味の「コラム」としていい出来ですね。 ただ、「コラム」はエッセイに似て実は作家性を問われるので、最後の2行をもっと鋭い視点のものにしたらもっとひき締まったものになりそうです。
オリボリ 9/14 3:28	へえ～、なるほど。 読みやすくて面白かったです。 商標というアイデアがすごい。
鞆鞆 9/14 6:24	「コラム」らしいコラムでした。 内容の「コラム」っぽさと比較して、タイトルの軽さが浮いていた気がします。
lily 9/14 18:31	わたしは「くるくる」でこのようなコラムを書くのは難しいと思ったけど、着眼点がすごいと思いました。
blue-orange 9/15 1:0	へえ～。と、じっくりと読んでしまいました。 勉強になりました！
こっくん 9/15 8:5	「コラム」らしい「コラム」の中では一番好きです。 内容も興味深く、勉強になりました。
Asagi 9/15 22:52	ギコ猫、モナー、米酒、のまタコ…… 権利って難しいですね。
のろろ 9/16 12:32	コラムらしい文章でわかりやすく面白かったです。

やまのかめさん 9/16 13:42	うーん、するすると読めるいいコラムなんですけれど、内容が完全に商標になってしまっ て、冒頭の「くるくる」が話題の出発点にとどまってしまっているのがもったいない！ 例えば「阪神優勝」みたいなネタは通じやすいネタではありますけれど、逆に意外性が無 くてつまらないような。これって結構話題になりませんでした？ 次から次へ話題にする商標の例として「くるくる」みたいな形容語を集めていったりした ら、こんなん普通名詞じゃん！？という意味でもっと面白くならないかなあ。どうでしょ う。
やまのかめさん 9/16 14:2	あ、「くるくる」は名詞じゃないや。えーと、名詞だろうと形容詞だろうと副詞だろう と、普通の単語一語という意味です。
結政 9/16 15:49	途中から、商標の話に持ち込んでいるあたりが残念かと。 いろんなところで使われているくるくるとか 商標の話に持ち込むなら ぐるぐる、で調べてみた結果を出すとか いろいろあったと思うのに、残念です。 阪神優勝 は実現しそうなところに来ているので ファンとしてはこの話題はうれしいですけど。 字数がぴったりでした・・・ くそっ オーバーしていると思ったのに。（こら
にび 9/17 8:7	ちょっとタイトルに違和感がありますけど、普通に面白くて良かったです。 自分はこのコラムなら「くるくる」はこの程度でもいいかな、と思います。
さむらす 9/18 10:44	他人の振りうまうぎでしょ。 実は１５００ぴったりなんだよアピだったのか。

[TOPへ](#)

くるくる、売ります。

総合順位：2位
合計ポイント：21 Point
作者：attena in USA
作者コメントはありません。

ようこそ、いらっしゃいました。当店、くるくる屋では、古今東西、珍品から日用品まであらゆるくるくるを取り揃えております。

まずは、定番中の定番をご紹介します。こちらをご覧ください。

くるくるメガネ

どこにでもあるありふれた普通のメガネ。デザインはやや古めで、度は相当きつめ。かけると頭がよさそうなキャラクターに見える。知力+10 センス-30。グルグルメガネとも言われている。 ” ずばり、おすすめでしょう ” (丸尾 末男)

「えっと、これかけてみて良いですか？」

どうぞ。今、鏡をご用意します。

「ぷっ、おもしろ。あっ、でも、意外と視界がいいです。というよりも、クルクルの線が見えないんですけど。」

このメガネは特殊な偏光板を使用しておりますので、内側から見るとすべての光を通すのですが、外側から見ると特有の渦巻き模様が見えるのです。

「すごいですね。あっ、このホームページは何ですか？」

くるくるプレート

アクションRPGでよく見かける乗るとどこかへ移動する床。当然、クルクル回る。普通は、床ごととは回らないのであるが、レトロなファンには、床ごと回るお立ち台風くるくるプレートが人気である。近々、乗るとクルクル回ってどこかへワープする新製品が完成する予定。

” クルクルプレートによる体験型迷宮アトラクション、回るメイドさんのマリオ発売予定 ” (任天堂)

「これは、初めてみました。こんなものがあるんですね」

国内では、確かに余り見かけませんね。でも、海外からは結構注文が来ますよ。とくに中国などでは、壊れたテーブルを使って昔から回転式の床を作っているの、結構メジャーなんですよ。

「楽しそうですね。でも、目が回って移動しづらそうだ。」

さて、次は最近入荷したばかりの当店自慢の一品です。

お代官様帯

日本人にはおなじみの、"ほれほれほれー"というあれである。もしくは、" あーれー、お代官さま、ご堪忍をー" というあれである。普通の帯とは違って、生地 of 織り方が細かいので伸びに強く、何度使っても回し心地が悪くならない。松竹梅および富士の四種類があり、値段があがるごとに装飾は派手になるが、まわすのにコツが必要になってくる。

" 今なら、帯のほかにオプションで着物もつけまっせ " (悪な越後屋)

「えっと、これはなんですか？」

男の人の憧れ、お代官帯です。あーれーーっと、か弱い女性をクルクルして弄ぶための専用の帯です。

「なんか、すごいマニアックですね...着物も着くんですか？」

はい。悪で有名ですが商いはまじめな越後屋の一品ですので、あわせて購入することを勧めます。

「うーん、むしろ、中身のほうはオプションはないのかな。」

当店では、中身の女性は扱っておりません。自分の彼女でお試してください。

「.....」

さて、他にも色々ありますよ。

トンボの目を回すための腕の模型

文字通り、トンボの目を回すためだけの装置。餌の匂いのする指の模型に止まらせて、もう片方の手の模型が指をくるくるして、トンボの目を回す。

RPMのレプリカ

面白いのでジパング国が国力を挙げて作った旋盤"RPM"。常識では考えられない回転数を誇る。戦艦大和を作った巨大旋盤と並ぶ旋盤二双のうちの一つ

くるくるくるくるくるくるー♪

おやおや、お客様、目を回されてしまったようですね。当店の自慢の品はまだまだありますよ。さあ、あちらへくるくる、こちらへくるくる、存分に楽しんでください。

作品に対するコメントを下さい。

投稿者	コメント
茜 9/10 11:49	おもしろいなー。お代官様帯がいいですね。 ところで、ふつーの帯って確かにくるくる回すのにはあんまり向いてないですよ。たしか、お座敷遊び用にちょっとかわった帯かなんかあったような気がします。 で、最初の3つ面白かったんですが、残り2つがイマイチ。RPMってなに？これはいっそない方がよかったかなー。だって帯面白いもん。あたしもほしい。（え？）
さむらす 9/10 14:59	くるくるなテーマに対して直球勝負ですねえ。 おもしろいんですが、ちょっと勝負が長すぎましたね。 最初は衝撃的だったのに、同じような話がつづいて少しあきちゃいましたよ。

エスフィア 9/11 9:52	ちょっと長すぎかなーと思ってしまいましたが、発想はすごくおもしろいです。聞いているだけで目が回る...
あそびにん LV.2 1 9/11 18:27	一つ一つはすごく面白かったけど、さすがにだれたかな。 茜さんの言うように、最後二つはなくてよかったかも。人気商品紹介して終わりでもいい気がするし。 そもそも、旋盤関係のRPMって言ったら、Revolution Per Minute で、ものじゃなく単位じゃない？ 語り口も発想もよかったと思うから、あとは適度に取り捨選択してまとめることかな。
きしと 9/11 19:0	どの商品も、くるくるのために様々なこだわりがあるんですね。とくにお代官様帯が凝ってると思いました。
えむえむ 9/12 1:12	くるくるなのにお代官様？と思いきや、あ～れ～お代官様～で笑ってしまった。
忠犬ヤス公 9/12 21:15	みんなは帯がお気に入りなんですね。僕は、くるくるプレートが結構好きなんですけど・・・「そうきたか！！」って思っちゃいましたよ。なんかポケモンが一番最初にイメージされて懐かしい気持ちになりました。
Perseus 9/12 21:52	面白いです。くるくるに対してこんなまっすぐな切り口で来るとは・・・字体も変えてて見やすかったです
無味 9/13 7:3	そのまんま、くるくるで来ましたねえ。楽しかったです。
こっくん 9/13 19:8	丸尾メガネには吹きましたw。発想が面白いです。
オリボリ 9/14 3:33	ちょっとひねった作品が多い中、直球できたのがすごくいいです。
ほろほろ 9/14 3:35	くるくるプレートまでは良かった！ 着眼点も 。 「お代官様帯」は、斜線の商品説明と試用した感想の役割分担がうまくできてなくて、結果的に冗長な印象を与えてしまったねえ。斜線の商品説明をもっとソリッドに書くともっと良かった！
zoo 9/14 21:48	実はくるくるでお代官を考えていた人です。皆さんと同じであとの2つはいらないかな。3つでとめたらさらによかったかと・・・
結政 9/16 15:25	トンボは目を回していないのですが、指を回すことには効果があるそう。 まあ、そんな感じで。 いろいろ出てきましたが、インパクトがあるのがお代官様だけというのが、残念かなあと。つらいかもしれませんが、ほかにももっとインパクトが・・・
jabberwock 9/16 20:8	常識では考えられない回転数が気になります。
ふじさき 9/17 0:23	こういう不思議空間大好き。文章も上手くまとまっていいと思います！
attena in USA 9/17 18:33	I want to kurukuru---- kurukurukurukurukurukurukuru----- >RPM Wow,how minor it is! I think Everyone doesn't know so that they doesn't get the meaning of this humor. Hummmm.
E i s e n 9/18 1:11	途中からの失速感が惜しまれますが、「何度使っても回し心地が悪くならない」帯が最高です。

神無月 9/18 2:2	パロディ好きとしては、どうしても「任天堂」が突っかかります。パロディにおいては、実在する固有名詞を出しちゃいかんのです。せめて、「弁天堂」とかもじって欲しかった。 帯は素敵です。まあ、使う機会ありませんけどね！　ハハ！　ハッハッハ！ もうちょっと推古の使用があるんじゃないかな、と思ってしまいました。一つ一つのネタの質がもっと高いと良いな、と。
Tohma 9/18 4:4	こんなノリの作品は結構好きです。越後屋が「オプション」とか言っちゃうあたりがいいです（笑） 下線が引かれた単語の上に無意識にポインタを重ねてしまったのは俺だけではないはず、と信じたい

[TOPへ](#)

今週のお題

開催中： 時

投稿受付中： 時

Column Land

■いよいよ最終セッションです！

■「時」のコメント＆投票期間は9月26日水曜日朝6時までです。これで最後、たくさんコメントくださいませ。

■オフラインセッションのお知らせは掲示板370へどうぞ。

コンテスト会

コラム掲載ペ

コラムアーカ

プロフィール

自己プロフィ

BBS

まじょコメン

weather cock

総合順位：3位
合計ポイント：20 Point
作者：こっくん

作者コメントはありません。

くるくるくるり　くるくるり
くるくるくるり　くるくるり
僕は真っ赤な　風見鶏
この町ひとつの　風見鶏

風に吹かれて　くるくるり
西へ東へ　くるくるり
調子にのって　一回転
どこを向くかは　風まかせ

町の見張りと　天気予報
それが僕の　仕事だけど
いつも同じ　町なみで
ヒマで退屈　つまらない

きょうも町を　見ていると
かわいいのらねこ　見つけたよ
灰色の毛に　大きな目
すぐに彼女に　くびったけ

けれども風は　意地悪だ
彼女をもっと　見たいのに
右へ左へ　くるくるり
前を向かせて　くれません

彼女をみつけた　あの日から
あのこが頭を　離れない
これが「恋」と　いうものか
鶏でも恋って　するんだな

たくさん雨粒　のせてきて
大きな嵐が　やってきた
ぐるぐるぐるり　ぐるぐるり

目を回すほどの 強い風

ぐるぐるぐるり 回るなか
僕は見つけた あのこの危機
嵐の怒りに さらに
今にも彼女は 飛ばされそう

なんとかあのを 守りたい
けれどなんにも できやしない
そのとき嵐は 僕をおそい
ネジを外して 去っていく

ひらひらひらり ひらひらり
ぼくは地面に おちていく
自分もあのかも 守れない
そんな自分が 情けない

けれど神様は 裏切らない
路地の壁際で 泣いていた
あのに僕は かぶさって
あの嵐から 守ったよ

くるくるくるり くるくるり
僕はよごれた 風見鶏
嵐が去った 次の日に
いつもの場所に 戻された

風がいたずら してきます
西へ東へ くるくるり
北へ南へ くるくるり
仕事も全く 変わりません

けれどもちっとも いやじゃない
向きはいつも 変わるけど
屋根にのぼって 追いかける
あのをいつも 見れるから

作品に対するコメントを下さい。

投稿者

コメント

茜 9/10 12:18	コッココーココーココーココーコッココーイハコイハコイ って歌を思い出しました。題名は忘れました。かざみどりに恋したにわとりの話。こっちは風見鶏が恋するんですね。・・・でも猫ちゃんに。あのにわとりの恋は報われないのか。 風に飛ばされて猫ちゃんに直撃して、猫ちゃんが死んで幽霊が屋根の上漂ってるとか言う謎の物語があたしのなかで生まれかけました。どんな思考回路してんだろ、あたし。さすがに、ひらひらとは落ちられないと思うんですよね。木製か金属製の風見鶏が嵐の中を。あと、ところどころリズムが崩れたのもざんねんなところでした。
CoCo 9/10 18:26	それは谷山浩子さんの『恋するニワトリ』です♪
RiZEL 9/10 18:38	テンポがいいですね。 真っ先に「くるくるくるりん」というゲームを思い出した僕はきっと少数派。
わがし 9/10 19:40	風見鶏か。たしかにくるくるだ。 茜さんのおっしゃるとおり、ひらひらとは落ちないかも知れません。 でもここで、がらがらと落ちてても、ちょっと音的に美しくないよねえ。 読んでてほんわかしました。
さむらす 9/10 20:17	これって人の恋の比喩表現ですよね。
mendel 9/10 20:30	>さむらすさん あ、なるほど。「あのこ」をわざわざ「あの仔」とも「あの子」ともしなかったのは人間に当てはめても良いようにだったんですね。気付きませんでした。 テンポが良くて、読んでて楽しかったです。「ひらひら」の部分も「くるくる」にしても大丈夫だったかも、と私は思います。 内容も和やかで良い感じに思います。童話の世界に入ったように感じました。
さむらす 9/10 21:35	> meloさん 甘い匂いには敏感に反応してしまいます。 好きですよこの作品。ひらひらと落ちれないという冷静なツッコミが気にならないほどに。 この作品ってたぶん縦書きにすると魅力がかなりアップします。
木星/dx 9/10 22:2	何か小忙しくて、言葉の精度ももうちょっと、というところが、侘びにも寂びにも、そして萌えにも無縁そうな風見鶏っぽい、といえば風見鶏っぽいんですね。ちょっと楽しかった。
mendel 9/11 1:58	>さむらすさん あ、私melonsanさんとは別人です。ちょっと似てますね。 確かに縦書きの方が魅力が上がりそうですね。横に空間があると少しモドカシイ感じもありますね。どうしようもない事です。
茜 9/11 12:30	> CoCoさん わー。分かってくれる人がいたー。あたしあの歌好きなんです。 コーイハコイハコイ♪ ひらひらはmendelさんの言うとおりの、くるくるでもよかったかも。そのほうが違和感少ないです。
さむらす 9/11 15:26	> メンデルさん 失礼しました。ぼくひらがなしか読めない人なので間違えてしまいました。なるほど遺伝の法則とかの方でしたか。

あそびにん LV.2 1 9/11 16:44	> 町の見張り と 天気予報 > それが僕の 仕事だけど 多分、ここが一番リズムを崩してるのかな。折角 7・5 で揃えてるんだから、ここもそうしたいところ。 というわけで、こんなのを提案してみる。 > 町の見張り と 風読みと > そいつが僕の 仕事だが 別に風見鶏天気みないだろって突っ込みも含めていろいろと解消できてる気がする。○れ→○いつに揃えて、問題ないとも思うしね。もう一箇所が、これが「恋」と で変えたほうが 7 になるわけだし。 全体の雰囲気、よく 7・5 のリズムがマッチしてていい作品だと思う。ひらひら→くるくるはあそびにんも同感。 > さむらすさん 「人の恋」の比喩表現だとは思わなかったけど、何かそう思った根拠みたいなものってある？ 擬人って意味なら、そりゃそうだねって感じだけど、鶏でも恋ってするんだなって部分があんまり人の恋の比喩には見えなかったんだよね。 縦書きだと印象がさらに変わるってのは同感。
さむらす 9/11 21:51	> あそさん ばくの結構深読みな解釈をはなしませう。 ・ヒマで退屈 つまらない 変わりばえのしない日常に退屈を感じている。 ・かわいいのらねこ 見つけたよ 好きな人ができる ・けれども風は 意地悪だ 好きなのに、なかなか彼女に近づくきっかけがない ・鶏でも恋って するんだな こんな僕でも恋するのね ・なんとかあのこを 守りたい 彼女の一番になれないかもしれないけど、彼女の傷つくところはみたくないから、彼女をなんとかして守ろうとする そして、なんとか、守ることができた。それでも、彼女の一番にはなれなくて、変わらない日常が再び。それでも、彼女がいるだけで、僕は幸せ。
さむらす 9/11 21:54	あんまわかりやすい説明ができなかったですが、つたわりました？ 鶏でも恋をするのねってところは、なんか目立ったすごいこともできない僕でも・・・という感じだと思った。
茜 9/11 22:6	鶏じゃなくて風見鶏ー。このちがいは大きいんですよ。（何） 「風見鶏が恋しちゃう」って設定が可愛いので、無理に人の恋に例えなくてもよいかな？とわたしは思いました。 でも、そういう風にも読める、と言うのは大事で、確かに人の恋と読むのもありだと思うんですね。人の恋だとすれば、自分に照らし合わせて読むこともできるわけで、もしかしてさむらすさん、自分と重ねたのかしら？ ところでさむらすさん、「彼女の一番にはなれなくて」って、どこから？
忠犬ヤス公 9/11 22:47	既出ですが僕もリズムが統一されてれば最高なのに！！って思っちゃいましたね。 あと今にも猫ちゃんが飛ばされそうなものすごい嵐の中、それを防いだ風見鶏はよっぽど大きく、重かったのでしょうね。それが落ちてくるって・・・
さむらす 9/11 23:11	> あかねさん 自分と重ねたわけじゃないけど、そう思ったんですね。まゝ軽い病気です。 一番になれなくて～ってのは、嵐の後も変わらない日常が続いたからですね。あゝ頑張ってたけど、一番になれなかったのねと思った。

Eisen 9/12 0:27	素敵！です。ほのぼのの甘い気分になれる。それでいて、きっちりハラハラもさせてくれる。かなり好きな作品です。
茜 9/12 8:8	リズムについてはあそびにんLv.2 1さんがコメントされている通り、一部崩れてしまっていたのが残念です。 でもこういうのって、筆者さんごとにこだわりが出てくるからなぁ……。「そいつ」とか「だが」とかは、風見鶏的には使いたくないなぁ、とか。 いかに上手いところで妥協していくかが問題ですね。
茜 9/12 12:8	> さむらすさん なるほど。でも、猫ちゃんはどうやら向きが変わる風見鶏追いかけてるみたいなので、むしろ首ったけ状態？ 1番になれないって思うこともないかも。 ・・・・・・というかそれでもくるくる回る風車ってまるで浮気性の男（こら）。
茜 9/12 12:8	あ、ごめんなさい。風車じゃなくて風見鶏ですね。 ↑
さむらす 9/12 17:25	> あかねさん 猫ちゃんはどうやら向きが変わる風見鶏追いかけてるみたいってのは、どこから感じたのですか？
茜 9/12 19:10	> さむらすさん 「屋根にのぼって 追いかける あのこ」ってありますよね。ここをそう読んだんですけど。
さむらす 9/12 23:18	> あかねさん ちょっと読み違えていたよう。 このこたちって結ばれたんですねえ。
ほろほろ 9/14 2:48	7・5調とフランクな口語体を両立させるのって、 とっても難しかったと思います。 きっと作者さんも 「完璧にリズムを踏みたいけど、堅苦しくしたくない！」 と、断腸の思いでリズムを外した箇所があるのでは。 その選択、僕は○とします。
やまのかめさん 9/14 11:50	いいですねえ。淡々とした語りが風見鶏っぽく。読み心地もいいし、それでいてちゃんとストーリーも組み立てられてる。 あそびにんさん指摘のリズムが気になる点は、わからないでもないですけども、「そいつ」はともかく、「仕事だが」はちと表現が固いと思うのです。多分、ほろほろさんの仰るとおり、リズム感と柔らかさの維持とで作者さんも悩んだんじゃないかなあ。自分なら定型にこだわらずに「そいつが僕の、仕事だけれど」ってところかな。
colt 9/14 14:22	これは好きな作品。テンポを生かして読ませよう、という姿勢は大好きです。 七・五の擬音四箇所（「くるくる」「ぐるぐる」「ひらひら」） が際立っていてとても綺麗で、だからこそ「ぐるぐる」は連の最初に入れて欲しかったな、と思います。 あ、あと例の部分ですが、その次の行の飽き飽きした様子に繋げるなら「僕の仕事はそんなもの」なんていかがでしょうか。 ----- > 彼女をみつけた あの日から > あのこが頭を 離れない と続くと、「彼女≠あのこ」っぽく感じるのは僕だけでしょうか。
あそびにん LV.2 1 9/14 15:5	> Eisenさん、やまのかめさん だがは確かにあそびにんも迷ったんですよね。ギリギリいけるかなと思って提案してみたところ。 今ふっと思いついたのが > そいつが仕事 なんだけど そいつはぎりぎりセーフだとして再登場してるのはいいとして、僕無くて何とかなるかな？ これなら、普通に7・5 > coltさん ああ、それもいいかもなあ。ちょっと卑下してる感が出ててGOOD。 そういえば、何で彼女とあのこを使い分けてるんだろう...全く考えてなかった。ちょっ

	と考えてみなきゃ。 もっとも、その箇所だけで見るのなら、単にあのこを重ねたく無かったって気はするけどね。
一分間 9/14 22:40	ところどころ韻があやしいところがありますが、それでも十分に魅力的な詩です。 個人的には、こういったタイプの文の中では、今までのランド内で一番いいと思います。ただ欲を言えば、嵐のときには、もうちょっと厳しさのある雰囲気が出せればよかったかなと。 難しいことですが、あなたならできると思います。
attena in USA 9/16 1:35	Good story. But as a poem it's a liitle rythm.
結政 9/16 15:51	面白い詩だと思いました（詩が多いですね、今回は） リズムが整えられていて メッセージも伝わってくるいい作品だと思います。
ヤンヤンマ 9/16 16:5	かわいらしい詩ですね。 リズムがちょっと無理矢理かなってところもあるのが残念ですが、でも、最後の４行の所を思い浮かべるとホント微笑ましいですね。
神無月 9/17 0:57	ゴス！　グハァ！ って言う音が頭の中で響きました。猫に風見鶏は重いんじゃないかなあ。 なんか、惜しいです。風見鶏は風見鶏に終始して欲しかった。端的に言えば、猫とは結ばれず、でも満足は風見鶏の中にあるって終わり方がいいなあって思うのです。一回の奇跡を除いて、全て現実でありうる事象というのが好みで。 リズムの乱れは、意外とあんまり気になりませんでした。完璧なリズムより、ちょっと崩れてたほうが読んで楽しいです。僕は。 悪くない、かなあ。個人的評価ばかりで申し訳ありませんが。
こっくん 9/18 8:24	作者です、予想以上のコメントに驚いております(^_^； 返事をさせていただきます。 > リズムが崩れた部分 「そいつ」「だが」というのを使うと、僕がイメージしていた主人公のけなげさが出ないので、泣く泣く７・５のルールを破るしかありませんでした。 何人かの方からいいアイデアがでてますし、もっと推敲するべきでしたね・・・申し訳ないです。 > 人の恋との重ね合わせ 当方恋愛経験は全くもってないのですが・・・無意識のうちに風見鶏を人間、よもや自分と重ね合わせていたのかも・・・。 嵐のときは、彼女に惚れてもらいたいなんて下心はないけど、彼女に笑顔でいてもらいたいって気持ちがあったんだと思います。 > ひらひらとは落ちない ここは「くるくる」以外の擬音語を用いようと思ったのですが、 風見鶏は平面だから・・・という安直な考えで「ひらひら」を使ってしまいました。この点もダメですね・・・。 > 風見鶏に当たってグハァ！ この部分は無理やり感があったのですが、 壁に子猫がいて、風見鶏が横向きに立てかかっている状態を考えていただければいいかと、 そんなことを詩の中で説明するとだらけてしまうので、つつこまれるのは承知でこうしました。 たくさんの感想とツッコミ、ありがとうございました。

永久回転奇行

合計ポイント：18 Point
作者：神無月
作者コメントはありません。

アハハハハハ

まるでバレエダンサーのように。華麗に、美しく。

アハハハハハ

両手を真横にピンと伸ばす姿は、ひたすらにスタイリッシュ。

アハハハハハ

股の角度はほぼ90度、背部に伸ばした右足は、つま先までもしなやかに。

アハハハハハ

輝く白い歯。輝く瞳。

アハハハハハ

ビキニパンツ一丁。

アハハハハハ

筋骨隆々。スキンヘッド。

アハハハハハ

太ももは丸太のように。

アハハハハハ

腹筋は鋼のように。

アハハハハハ

鉄のような肌。

アハハハハハ

気をつけの姿勢が出来ないほどの胸筋。

アハハハハハ

目的なんてわからない。気が付けば彼は回っていた。

アハハハハハ

雨の日も。風の日も。カミナリの日も。豪雪の日も。

アハハハハハ

その命が尽きるまで。

アハハハハハ

僕らのマッチョは回り続ける。

作品に対するコメントを下さい。

投稿者	コメント
ゆーべる 9/10 11:14	記述は具体的で、ミスディレクションの可能性はなさそうです。 ボディビルについては詳しくないのですが、たとえばターンテーブルの上でポージングを決めたりすることがあるのでしょうか。
わがし 9/10 13:50	わたしも一緒に笑いました。あははははは
鞆鞆 9/10 19:23	光景が脳裏に鮮明に映し出されました。 私のお茶を返してください。
kiku 9/10 21:31	タイトルが秀逸すぎる。 たまたま最近ニコ動でマッチョのアレな動画見てて、それ思い出して変なイメージ+αで頭から離れなくなったじゃないか。夢に出そうでこええよ。
茜 9/11 18:49	・・・・・・・・・・・・・・・・・・はい？ 「ビキニパンツ一丁。」のあたりから、いろいろおかしくなって行って、頭の中が混乱しています。取りあえずコメント見て分かったことは、脳内劇場はストップしろってことですね！ あ、「筋骨隆々。スキンヘッド。」は、筋骨隆々ってストレートに言っちゃわない方がいいと思いました。この後の部分でおのおの説明してますし。「きらめくスキンヘッド。」とかで。
地紅晴酸 9/11 20:35	「僕らの」マッチョということは結構人目につくところで回ってるんですね・・・。 ・・・面白いような、恐ろしいような。 とりあえず、実際に遭遇したら石化しそうです。 脳内だけでも微妙に硬直しましたし。
えむえむ 9/12 1:28	ちょっと前にCMでやってた、スキンヘッドの男の外人が白い歯を見せながら笑顔でバレエするシーンを思い出しました。
あそびにん LV.2 1 9/12 12:25	タイトルの奇行と、最初のまるでバレエダンサーのように。から想像がついてしまった.....某男だらけのバレエ団恐るべし。普通に予想の時点で鮮明な映像が頭に浮かんでしまった.....。 すっごく個人的に足りないと思ったのが.....やっぱり、こういうネタには爽やかな笑顔をさせなきゃ！輝く白い歯だけでは満足できない！...あそびにんは何を言ってるんだ。 にしても、本当になんだろなー、これ。常識的にはありえない状況ってことでいいのかな？ 雨の日も~~の部分からは外っぽいしな。変なマッチョもいるものだ。

vicky 9/13 6:53	これは極端ですけど、バレエ経験者から言わせてもらおうと回るのって快感なのは確かなんですよね…。
無味 9/13 7:0	とっても○○な人が脳裏に浮かびました。
忠犬ヤス公 9/13 14:53	アハハハハハ 不気味すぎる・・・
colt 9/14 14:51	> ビキニパンツー丁 で吹きました。そこから怒涛のように押し寄せるおもしろワード。 これがセンスか！ あまり、深く意味を考えるものじゃないと思うのです。くるくるくるー
lily 9/14 18:26	おもしろいです。 小島よしおとかもそうだけど冷静になるとつまないけど空気で笑っちゃいます。
ほろほろ 9/14 20:14	こういうものほど 1500字をフルに使って延々とやってくれたら、 最後には芸として認識されると思います。
Asagi 9/15 22:20	バレエダンサーの衣装を着ている姿が脳裏に浮かびました。白いタイツで。ふわふわのスカートで。そこからアヒルの頭がによろって。きっとBGMは白鳥の湖。ごめんなさい。
結政 9/15 23:26	だめだ・・・・ ごめん、ネタかいてる人には申し訳ないですが 笑えません。面白くなかった。 ビキニパンツー丁。で笑わせてそのまま持っていきたかったんでしょうけど・・・・。 ここで、躓くとすべてが無に帰すという諸刃の剣。
きしと 9/16 2:28	な、なんなのだこれわ.....（笑） 「僕らのマッチョ」は何のために回り続けているのでしょうか..... 何かの比喻だろうか。
やまのかめさん 9/16 14:8	読んで浮かんだイメージは超兄貴でした。 (ご存知ない方はgoogleで画像検索かけてみて下さいな(笑)) こういうものを知っていたので読んでの衝撃という意味ではそんなに強くなかったのですが、こう、机の上に突っ伏したくなるこの脱力感は何でしょうね(苦笑) 関連して「兄貴のスケーターワルツ」という曲(歌?)がありまして、いや、もう、まさにそんなイメージ。あれを文章で提示されるとこうなるんだなあ。 ネタを中心に据えた作品の場合、くどいくらいに突き進んで読者を引っ張った方がいいと思う場合が多いのですが、この作品の場合はそれをやったらさすがにくどすぎるような、1500字目一杯このまんまはさすがに(苦笑)
ふじさき 9/16 23:40	最初は風車の例えかと思ったけど...最後はマッチョの笑顔しか浮かんでこない。。 こういう作品好きだなあ。
赤ずきん 9/17 5:55	なんて酷い.....！！（←ほめ言葉） 描写されてないのにマッチョの溢れんばかりの笑顔を夢想してしまった。なんて恐ろしい.....！！
木星/dx 9/17 6:13	「永久」にしては控えめですね！！ 1500字目一杯、読者を飽きさせずに、命がけで続けられたら3位くらいにならしてもいいですけどね～
E i s e n 9/18 1:5	なんと馬鹿げた作品でしょう！（最上級の褒め言葉）
Tohma 9/18 4:4	僕はコラムを上から順番に読んでいます。 ものすごい偶然なのですが、このコラムの一つ前が「くるくる回れ」で、少年の「永久機関になってくる」といったセリフで締められてました。 そしてこのコラム。 ああそうか、少年はビキニマッチョになったのか..... 二つのコラムが一つの物語に！？

指に絡めて

合計ポイント：17 Point

作者：Begonian

作者コメントはありません。

わたしの髪を 指に絡めてくるくる遊ぶの 好きだったよね

いつしか わたしの髪も伸びて あなたもそうやって 遊ばなくなった

思い切って 短くしよっかな って思ったこともあるよ

そうしたら またくるくるしてくれるかな って

でも 聞いちゃった

あなたが 長い髪の女の子が好き って言ってたのを

ねえ わたしは どうすればいいの

自分で自分の髪を くるくるしても 答えは見つからない

ある日の 帰り道

あなたは あの人と一緒にいた

わたしに気付くと あの人は寄り添うように あなたに触れた

胸が 締め付けられた

あなたは いつもしてくれるように わたしの頭をなでてくれたよね

それは 嬉しかったよ

でも お願い

その人の前で わたしを子供扱いしないで

わたし あの人のことは好き

でも あなたと一緒にいるときのあの人は 嫌い

ねえ どうしてあなたはあの人と よく一緒に居るの

わたしの方が ずっと前から あなたと一緒にだったのに

髪だって わたしの方が 長いのに

ねえ もしかして あなたは あの人のことが

そんなことないよね

ねえ そんなことないよね

そんなことないって 言ってよ

ごめんな

それだけ言って あなたは わたしの髪を一房 指に絡めた

いまさら そんなことしてくれたって 胸が苦しいだけだよ

わたし 髪 切るね

作品に対するコメントを下さい。

投稿者	コメント
He 9/10 10:15	なんだか切ない...。 文章がきれいって印象を受けるから、何か余計にそう感じる。
茜 9/10 11:44	あの、話は切なくて髪の話も共感できていいんですけど、 >それだけ言って あなたは わたしの髪を一房 指に絡めた って、このおとこだめだー。さいあくだー。 乙女の髪になに気安く触ってんのよ。つーかあんた彼女いるんでしょーが。触るな汚れる この馬鹿男ー。 と、思わず叫びたくなりました。あと、長い髪の方がくるくる遊べませんか？
わがし 9/10 12:55	むむっ！？ ごめんな、っていっちゃうあなた、それは言ってくれるな！ あとでまたじっくり読むね！
さむらす 9/10 15:53	そうですねえ、なんで短いほうがくるくるしやすいんでしょうかね。 わたしさんには幸せになってほしい。その男はだめだよね。

鞆鞆 9/10 19:22	指に絡める、と言っても、甘く絡めるから、短い方が都合が良いんでしょうね。長すぎると、指に絡まってしまいますから。字面は同じですけど。 長い髪でくるくるしてて絡まって引っかかると、結構な高確率で抜けて地味に痛いですし。 とか考えたんですけど、もしかして高さの問題だったりするんでしょうか。くるくるして遊ぶとなると毛先付近を絡めないと絡まって（ああもう、ややこしい）しまうので、伸びてくると、ただでさえ男性よりも女性の方が身長が低めの傾向があるので、指に絡めて遊ぶには毛先が低すぎるのかな、とか。 さておき。 そんなことないよね、を重ねた後の謝罪の言葉が刺さります。しかも謝りながら髪を指に絡めるとか、もう、ね。 茜さんのコメントの明るさにちょっとだけ救われる、切なさ。
茜 9/11 18:31	> 鞆鞆さん あー、なるほど。確かに。絡まりますね。長いと。かなり致命的に。 下手に指で梳こうと手を入れると、そのまま屈まなきゃ毛先まで到達しないとか。（長すぎ） でも、よくよく読んでみれば、別にくるくるしにくくなったとも書いてないんですよ。・・・つまり髪の長さ無関係に彼の心は離れていった、と。そういうことなんですか。（議論台無し）
あそびにん LV.2 1 9/12 14:30	>ごめんな までのわたしの切迫感みたいなものがすごく伝わってきた。 切迫させて、切迫させて、ぱっさり >わたし 髪 切るね ってのが締め方としてよかったと思う。 ちなみに、これ読んであそびにん自身の髪でくるくると遊んでいたのは秘密。 >わがしさん ごめんなってはっきり言わないままってのもそれはそれで酷い気がするけどなあ。むしろ、英断じゃないかとか。その後の行動はあそびにんもよくないと思うけど。 > 茜さん さすがにくるくるが理由で離れていったら嫌過ぎ……。というか、多分元から友達感覚とかだったんじゃないのかな？
茜 9/12 16:0	> あそさん 普通この場合、「うん、（あの子のこと）好きだよ」って答えるのが一番自然でいいと思います。 「ごめんな」って髪を絡めるのは、全然はっきり言ってないですよ。むしろ、「ごめんな。あんな女なんでもないんだよ。ホントは君の事が～」見たいな意味になりかねない。どうとも取れそうな言葉は怖いです。 きっちりきっぱり「君じゃ駄目」って言っちゃうのがベストかと。 > 髪の毛 いや、まあ、くるくるが理由で離れたわけではないだろうが。そーするとどっちにしる髪を切ったらまた～なんて彼女の一種の八つ当たりで、ああもうなんか切ないなあ。
わがし 9/12 21:2	> 茜さん そうだね、女としては、だめな可能性にとどまりたくないからはっきり言ってほしいよね。ぱっさと。 ごめんなってなんかさー、えー、中途半端なんじゃなーい？ なんてな。 でさー、そのあと髪の毛気安く触らないでよねー。 言ってることとやってることが違うっつーの！ ・・・どうしてこんなに一生懸命怒るのでしょうか・・・
茜 9/12 23:21	> わがしさん ですよー。 ホントなぜかピコハン持って殴りに行きたい気分にはさせられるのはなぜでしょう。切なさの反動？

わがし 9/12 23:26	> 茜さん そうですね、なんというか、この男（男呼ばわりだっ）の優柔さみたいのをどこかで感じるんじゃないでしょか・・・。 ばしっと切ってくれ、ばしっと。 ・・・優柔不断は、やさしさなんかじゃないっ！！
Asagi 9/12 23:39	・・・。なごみ部屋がうらみ部屋に。
さむらす 9/12 23:43	なんかあの人さんがイジメられてるので、ぼくはあの人さんの味方をしてみようかとおもいます。 彼のことを優柔不断というけれど、わたしさんがまだ好きだと思っているのがわかるから、面とむかってあの子のことが好きなのよとは言えない。それでも、もうわたしさんとよりを戻すことはできないからごめんとしか言えない。髪をくるくるしたのは、悲しそうな彼女の顔を見るのがつらくてたえられなかったの。
茜 9/12 23:49	> わがしさん > ・・・優柔不断は、やさしさなんかじゃないっ！！ まったくです！どっかの馬鹿にも言ってやってください！ （いつの間にかホンキで怒ってる人）
mendel 9/13 0:48	凄く切ない文章です……。段落の変え方が上手だと思いました。 でも「ごめんな」ってズルいですね。 言われたら「わたし」が何を言い返しても、「わたし」が悪いような気持ちになってしまう。
木星/dx 9/13 2:0	これ・・・幼稚なキモ男にくるくるされて気持ち悪くなったから、その部分を切り捨てた話だったら楽しかったのに～
あそびにん LV.2 1 9/13 18:49	> 茜さん あうあう、ごめんなって普通にはっきり振った言葉だと思ってたのに、女の子視点で見たら違ったのか.....難しい。 でも、やっぱり文脈考えたら振った以外の解釈できる？ 文脈って、作品としての文脈じゃなくて、そんなことないよね～～辺りの...そっか、これ、わたしが別に口に出してるわけじゃないのか。 > mendelさん ああ、それはあるかも。その理由が一番ごめんなが駄目な理由としてあそびにんには納得がいく。確かに、反論の余地を残さないもんなあ...怒りのやり場がなくなるというか。
木星/dx 9/13 20:32	このキモオ君は<悪者になりたくなかった+最後までカッコつけてたかった>から「ごめんな」と言ったんですよ。だけど自分では恐らく「よかれと思って言った」つもりでいる。汚れた部分を相手に押しつけて、みじめにさせるだけなのに。オマケにこともあろうか、そんな自分のキモ世界に酔いしれてくるくと・・・させてる方もさせてる方だけど・・・ まあ、ハッキリ言ってどっちもどっちですな。 女の子の幼さがくるくる男を呼び寄せてしまうんでしょ～ね（涙 類は友を呼ぶの好例
鞆鞆 9/14 6:14	木星さんのコメントを悪意的に感じてしまう私。この男は確かに最低だけどキモいとまでは思わないし、女の子だって幼いとは思いません。 読み直すの3度目にして、「わたし」を「あなた」の妹として読むという読み方を思いつきました。思いついただけ。
木星/dx 9/14 6:26	確かに...。 正直、どっちも嫌い。そこらへんの感情が出たかも。

	 長い髪の毛は房を持ち上げて絡めればいいと思います！（＜他人の髪の毛いじるの好きな人） -----
やまのかめさん 9/14 6:38	えーと(汗)、冷静に読めば、「髪をくるくる」を重く考えているのはあくまでも女の子の視点でのことであって、この男はあんまり意識してないんじゃないかとは思いました。 で、ちょっと(こわごと)この男を弁護すると、もしかしたらこの二人は所謂彼氏彼女の関係というわけではなかったんじゃないかなあ。語り手の女の子自身が「子供扱いしないで」って言うてるし、多分、男の側からすると、この女の子は彼女未満、年下の子を単に可愛がっていただけ、という気持だったんじゃないかなあ。「ごめんな」は、君を恋愛の対象として見られないよ、という意味じゃないかなあ。 こう考えてから、この男は語り手の女の子にとって、親戚のお兄さん(はとこくらいには離れてる)だと想定して読んでみたら、結構ちゃんとしっくりくるのですが。で、最後に髪を触ったのも(小さい子をあやすように)優しくなぐさめた(つもり)と。
茜 9/14 12:21	あーあ。キモ男とまで言われちゃった。・・・・・・悪い人じゃないんだろうなあ。ただ、優しくて優柔不断なだけで。 >やまのかめさん あー。そーいえばたまにいますよねー。女の子の髪の毛引っ張るのが悪いことだと認識してない人とか。 鞆さんもおっしゃってるし、「あなた」にとって「わたし」は妹みたいな存在なんでしょうね。・・・・・・でもなあ、やっぱり間接的とはいえ告白されたって分かるなら、1人の対等な女として扱ってあげて欲しいなあ。
さむらす 9/14 17:6	この男嫌いなどと他人事とは思えない勢いでコメントする人たち。 これだけ感情移入させるとはすごい作品ですねえ。 ぼくはこの女の人もあまり好きではない。こんな男にほれたのはあなたの責任なのよ。
ほろほろ 9/14 19:37	このコラムの助演女優賞は、茜さんですね！ 作中の「わたし」が、茜さんのような人になぐさめられてこの話は完結すると思うのです！！ （いや、このコラムはこのコラムで完結しているのだけれども）
一分間 9/14 22:30	「あの人」が男によりかかるのと、男が彼女の頭を撫でて、 「あの人」は特に反応を示していない。 ずっと前から一緒にいた。 この主人公は男の妹なのでは？ それで、妹は兄に恋愛感情的なものを抱いている。 幼い頃と違って、今一番好きなのは「あの人」なんだという 意味を込めての「ごめんな」 こう考えると多少すっきりすると思います。 まあ、妹は実際にいると鬱陶しいことこの上ないらしいですが。
やまのかめさん 9/15 7:56	> 茜さん この二人の間には間接的な告白すらなかったのではないかと思うんです。本文から読めるのは、 よく髪をくるくる遊んでくれた 最近では遊んでくれなくなった 「あなた」はいつも「わたし」の頭をなでてくれる 「わたし」はずっと前から「あなた」と一緒だったetc で、切々とした語りからこの「わたし」がどれだけ強く「あなた」を慕っているのかは伝わってくるのですが、「わたし」は「あなた」からはほんとに子供扱いされてしまっているように見えます。 ですので、妹、血の繋がった妹である必要はないのですが、幼なじみにしても親戚にしても、小さい頃から妹的な立場にいた女の子、じゃないかなあ、この語り手は。「わたし」が小さい頃から一緒にいた二人、けれど少しずつ、女の子の思慕は男女の性を意識させるものに変わってきた、それに気付いた男は距離を置くようになって.....

	うん、まあ、でも、「あの人」と遭遇したあたりを読むと、「あなた」も「あの人」もこの語り手の気持ちはとっくに知っていたように感じられたりして、やっぱこの男は優柔不断かも(苦笑)
わがし 9/15 13:9	そうですね、このわたしは、あなたの妹チックな感じの立場ですよな。 賛成！ あこがれてたのかも知れません。お兄ちゃんに。 ・・・まくあかっ！（ちがうちがう
茜 9/15 13:13	>やまのかめさん 結局のところ、子ども扱いしか出来なかったのが彼のだめなところというか、失敗だった というか。悪気はないんでしょうけど。・・・悪気がないってのがなんか余計に泣き たくなるのはなぜ。 というわけで女性の扱いには気をつけましょうね。（そんな結論か）
わがし 9/15 14:43	>茜さん >悪気がないってのがなんか余計に泣きたくなるのはなぜ むむむ、わかる気がする。 悪気がないっていうのは、ある種、攻撃のしようがないのですよね。だって、悪気がない んだもん。 でも、男としては、やっぱり、わたしの気持ちを汲む余裕がほしいものです。 そして気がないならば、つきはなしてほしいものです。 それが、逆に、愛ってものです（断言！
結政 9/16 16:45	他人に触れることを無意識的に避けているらしい私にすると 他人の髪をいじるというのは考えられないですね。 まあ、きっとこの人も悪気は無いはず。 このおなごが病んでいるのです（もうそのねたは自粛しろ
老若男女 9/16 21:8	ありきたりな文章だなんて思って読んでたけど、最後の一文でドンときた。
弟子 9/16 22:38	『伸ばした長い髪理由は彼にさわられたかっただけ』 『伸ばした長い髪はいつまでたっても切れないまんまだわ』 『なんて、悲しい恋の話、お話は続く』 はて、なんて曲名だっけな？
attena in USA 9/17 21:30	makua's another story?

[TOPへ](#)

クロ

合計ポイント：15 Point
作者：RincO
作者コメントはありません。

くるくる

くるくる

とけいのはりは　くるくるまわる

ばくがおこられてても

ばくがないてても

きょうのあさ　ぼくのだいすきなクロがしんじゃった

いっつもいっつもいっしょにいたクロ

もっといっしょにいたかったのに

もっといっしょにあそびたかったのに

いなくなるなんて　ぜったいいやだった

だいすきなクロとはなれるなんて　ぜったいいやだった

だからぼくはとけいのはりをもどした

くるくる

くるくる

いっしょうけんめい

クロがげんきだったじかんまで

はりをもどしつつけた

ぼくはそれからクロのおうちにいった
 でもクロはいなかった
 いえのなかも　にわも　ぜんぶさがしたけど
 どこにもクロはいなかった

クロ、どこにいるの？
 もうすぐおひるのじかんだから　もどっておいでよ
 ちゃんととけいがすすみすぎないように　ぼくがみはっててあげるから
 もどっておいで

作品に対するコメントを下さい。

投稿者	コメント
He 9/10 10:54	なんだか不思議な感じ。優しいのに怖い。 無邪気な残酷さを感じた。
RiZEL 9/10 18:3	純粹無垢ゆえの怖さ。非常に雰囲気の良い作品だと思いました。 「クロ」で猫を想像したのですが、猫って死ぬ時は誰にも見られないように姿を眩ます、 という話をふと思い出しました。
鬼 おん 9/10 19:14	純粹だからこそ怖い、みたいな。 子供心がいい感じに書かれてますね。
さむらす 9/10 19:55	> R i Z E Lさん クロは犬だと思いますよ。ネコってネコ小屋みたいなないでしょ？ クロがいなくなってこの子の時は止まる。このままでは心が壊れてしまうかもしれない。 こういうときってどうやったら救われるのでしょうか？
きしと 9/10 22:49	全てひらがなに書かれていることによるやわらかさ、 そしてそこに描かれる少年の行動。 そのギャップが悲しさと怖さをもも出し、ぞわっとなりました。
あそびにん LV.2 1 9/11 18:54	ああ、なんかいいなあ……といっても、あんまり怖さは感じなかったかな。悲しみで壊 れるかもしれないって、不安みたいなものは確かに感じたけど…。 > さむらすさん それは、時が解決してくれるものさ……って気障っぽく言おうと思ったら、そもそも時 が止まった前提だったあ！ うーん、やっぱりそれでも現実を直視させないといけないとは思うかなあ。下手な理解 のさせ方だと、逆に認めないってこもりそうな気はするけど…。
茜 9/11 19:41	時間と言う概念を、まだきちんと捉え切れてない子供でしょうか。 怖くはなかったです。ここから、何かを学んで、人は成長していくものだと思うから。 ペットロスって必要なんですよ。それを乗り越えることが、意味を持つから。 まあ、ここで「ぼく」にちゃんと現実を直視させてあげる人がいなければ、壊れてしまう かも知れませんが。それが親の仕事ですよ。

Perseus 9/12 22:1	雰囲気出てていいです。 子供の切な声が痛々しい。でも、今日日こんな子供いないんだろうなァ 冷静に犬の死を受け止めそう
こっくん 9/13 19:27	最後の一文に、切なさだけでなく、どうしても怖さを感じてしまいます。本当はそう読むべきではないと(勝手に)思うのに・・・。 題材は非常にいいです。ドラマとかでありそうだなあ。
鞆鞆 9/14 6:29	おじいさんの古時計を直したらおじいさんがゾンビになって蘇る、という、以前コラムで読んだ話を思い出しました。 時計の針を戻したらクロが…。
blue-orange 9/15 0:27	子供の純粋な気持ちが描かれていて、とても素敵な話だと思います。 個人的にはクロは猫かなあって思ってます。まあどっちでもいいですが。
やまのかめさん 9/16 14:12	子供視点の作品にはなぜだか見る目が厳しくなってしまうんですが、死は理解してるのに時間の概念を理解してないのか……なんてちょっと穿った見方をしてしまいました。 まあ、一読者の感覚として、ご参考までに。
結政 9/16 14:15	もっと病ませればいいのに…… いや、ちょっと違うか？ 「リセットボタン」と同じような怖さがしたのですが これは気のせいでしょうか？こうやって死を理解するのかなあ、みたいな。
ふじさき 9/17 0:42	時計の針を戻せば生き返ると思ってる子供の気持ちが伝わってきていいとおもいます。
ばっは 9/18 5:48	わかります。悲しいときは戻したくなりますよね。でも悲しいことも過ぎた後は思い出の一つなんですよね。いい作品でした。

[TOPへ](#)

今週のお題

開催中： 時

投稿受付中： 時

Column Land

- いよいよ最終セッションです！
- 「時」のコメント＆投票期間は9月26日水曜日朝6時までです。これで最後、たくさんコメントくださいませ。
- オフラインセッションのお知らせは掲示板370へどうぞ。

[コンテスト会](#)[コラム掲載ペ](#)[コラムアーカ](#)[プロフィール](#)[自己プロフィ](#)[BBS](#)[まじょコメン](#)

Column of the word and the sound

合計ポイント：15 Point

作者：E i s e n

作者コメントはありません。

古今東西の人類が操る「言葉」というものは、大きく分けて三つの要素から成り立っている。すなわち、「文字」「意味」そして「音」である。

もちろん、何らかの理由でいずれかが欠ける場合もある。例えば、「識字率」なんて言葉が示すとおり、文字を知らない人々は全人口の数割を占める。アルファベットを初めとする表音文字自意味を持たないし、音という要素を含まない手話も立派な言語の一つである。

さて、今回はこの三つのうち、言葉の持つ「音」という要素に注目してみたいと思う。

例えば、「くるくる」という擬音を思い浮かべて欲しい。「くるくる」しているものとして、頭に浮かぶのは何だろうか。

くるくるまわる風ぐるま。新体操では、くるくるとリボンをまわす。くるくるとカールのかかったブロンドの髪。割り箸をくるくるやって、綿飴をつくるおっちゃんの手。なんとなく、そういう「軽い」「やわらかい」「小さい」といったイメージのものが浮かぶのではないだろうか。

それに対して、では「くるくる」に濁点「ゝ」をつけた、擬音「ぐるぐる」だとどうだろう。「ぐるぐる」しているものとして、頭に浮かんでくるものとは。

飛行機の旋回。「かごめかごめ」に興じる子供たち。きつとなにかそういった、「ゆっくり」「大きい」「重い」というイメージを持つだろうと思う。

地球が太陽の周りをくるくる回る。泡だて器をぐるぐる回してメレンゲを作る。そういう言い方をしてしまうと、違和感を感じるか、意味がまったく変わってしまうものなのだ。

そうやって考えてみると、一つの疑問にぶつかることだろう。いったい、こういったイメージの違いは何が演出しているのだろうか。「くるくる」と「ぐるぐる」の間にある、イメージの差を生み出す要因は一体なんなのだろうか。

答えは、いわゆる「子音」と言うものだ。

「くるくる」つまり「kurkur」は、子音「k」によって特徴付けられている。これは軽く明るい音に他ならない。「くるくる」以外に「k」を使う擬音、例えば「コツコツ」とか「クスクス」とかでも似たイメージを覚えることだろう。対して「ぐるぐる」つまり「gurgur」では、「g」が特徴的な音となっている。これは重く攻撃的な音。「グツグツ」とか「ガリガリ」とか、「ギラギラ」なんて擬音でもイメージがつくのではないだろうか。

また、擬音以外の例を挙げることもできる。英単語「kity」や「kid」、「cook」（つづりは違うが音は一緒）などは、軽いイメージを伴う意味の言葉である。対して「Grolia」（栄光）とか「Gigantic」（巨大）などの語は、重くギラついたイメージを伴う言葉だ。日本語でも「かし」は「菓子」や「仮死」だが、「がし」は「餓死」である。「かま」は「釜」だが、「がま」は「蝦蟇」である。

まず音ありきとは言わないが、このように、言葉の意味と音とには、密接な関係があるのである。この傾向は、成立の古い語にほどよく見られる。（逆に最近に作られた、はやり言葉の類でもない言葉ではこの限りではない。）

実は私は、とある合唱サークルに所属している。そのなかでも、外国語曲の発音を調べたりする役職の責任者を担っている。その立場上、言葉というものに対しては人より敏感であると思っている。

そしてまた、そういう境遇にあると「言葉の美しさ」に驚くこともしばしばである。このコラムを読んでいる皆には、もっと「言葉」というものを心して聞いて欲しいと思う。言語とは、君たちが思っているより、ずっと美しく感覚的な芸術であるはずだからだ。

一度、自分の普段発している言葉がどういう「音」また「意味」を持っている言葉なのか、意識しながらものをしゃべってみるといい。人によっては、世界が変わる思いができることうけ合いである。

作品に対するコメントを下さい。

投稿者	コメント
He 9/10 12:34	『語感』って大事だよねって、書いたり読んだりしててよく思うから、わかる気はする。不思議と読みやすい作品ってそういう部分かなあって。ただ、どんな言葉も音につながっているような印象を受けて、逆に手話の位置づけってどうなるんだろうって思った。
さむらす 9/10 20:26	おおいこというね、おにいちゃん。ただ、くるくるって擬態語じゃないのかな？
mendel 9/11 2:13	「k」の説明に「軽い(karui)」、「g」の説明に「ギラつく(giratuku)」を使ったのはワザとなのでしょうか？それとも偶然？まさに文中で言っている内容にあったイメージの言葉ですね！
茜 9/11 16:13	確かに。意味は違ってくるかも。くるくるとぐるぐる。今回のお題もくるくるじゃなくてぐるぐるだったらどうだったのかな？って思いました。
えむえむ 9/12 0:48	音によるイメージの違い...言われてみればその通りですね。でも、こういう文章を読むと思わず反例を探したくなってしまう。なんとなくですが、金と銀ではどうでしょうか。
作者 9/12 22:14	反例はいっぱいあると思います。全ての言葉が、まず音があってから字を当てた.....とかではありませんし。音とイメージがまるで違う言葉の存在は、特に日本語にあっては顕著です。 たぶん、漢字が表意文字であることに由来するのでしょう。 例えば「金」って、日本語では沢山の意味を含んだ語です。金属全体であったり、通貨であったり、黄金であったり、鉄であったり。それだけに、音とイメージとの乖離が激しい、良い例だと思います。 でも例えば、「金」という字の各種の読み方を考えてみると。 「オカネ」であれば何となく軽いイメージ。 「オウゴン」というと重いイメージ。 「サキン」だと軽いかな。 という風で、あながち外れてもいけないように思えます。無理やり過ぎるかな？ それから、銀を「ギン」と読むのは「金」つまり「キン」との対比が大きいと思います。まず「金」があって、それに次ぐ価値のものとして「銀」が使われたのではないのでしょうか。 何かで調べたわけではありませんから、確証は皆無ですが.....。 ちなみに英語ではGoldとSiverです。どっちが重そう？

pencha 9/13 14:45	確かに！と思いました。 子供の頃から意味と音を結び付けて覚えていって、 自然とそのようなイメージを抱くようになるのか、 それとも人間の本能（？）的なものなのか...なんて考えました。 > 作者さん Goldはズンとくるように、Silverは何となく後味が重く感じました。 （分かりにくい表現ですいません）
あそびにん LV.2 1 9/13 15:15	基本的になにごると意味が強烈になっていく気はするよね。kとgに限らず、サクサクとザクザクとか、トロトロとドロドロとか。子音の問題っちゃ子音の問題だけど、日本語で考えているのなら別に濁点の問題とかでも良かったんじゃない？ 内容としては、運び方とか割と面白かったと思う。 それにしても、本当に、Heさんの言うとおり語感って大事。 > 作者さん Silverですぜ、と揚げ足取り。Sliverならそれはそれで...（意味不明） 金についてはそんなに無理やりすぎとは思わないよ。 言語に関してはどうしても例外みたいなものが多くなってしまいうし、とりあえず面白そうなのはいろいろと考えてみるのがいいんだろうね。最近の、日本語はラテン語由来なんて話も面白いなと思ったし。 > penchaさん 日本語読みで書いて、ゴールドとシルバーで、それでシルバーは濁点が後にあるから後味重いんだろうなあとか。何となく言いたいことは伝わってるから大丈夫。
ほろほろ 9/14 3:29	中身は良いと思うのですが、 全体的に、人を惹きつける文章を書く事よりも、 正しい主張を述べる事を優先してしまった感じがします。 なんていうのかな、極論を言うと 「コレを伝えたいんだ！」っていう気概が感じられなかった。 特に最後の7行は、作者さんの経歴よりも、 言葉の美しさを感じた実体験を書いたほうが 作者さんにとっての美意識を共有できて良いでしょう。 ちなみに最後に > 人によっては、世界が変わる思いができることうけ合いである。 とありますが、「うけ合い」は「～事を俺が保証するぜ！」というニュアンスで、「人によっては」という言葉とミスマッチな気がします。中身が「世界が変わる思い」という非常に強い勧めだけあって、押してんだか引いてんだかわかんないシメになっちゃった気がします。
lily 9/14 18:49	わたしは「`」がついてるものからとると少しきれいになる感じがします。 豚からふた、強盗からこうとう、ギャングからキャンク、ガンダムからカンタム、・・・
blue-orange 9/15 0:30	主張がしっかりしてて、思わず納得してしまいました！ 言われてみれば確かにそうだ！と思えました。
Asagi 9/15 22:14	カンタム・・・カンタム口ボ。 文字の発明されるより以前、言葉が「意味を持った音」であった時代というのはたぶんものすごく長かったはずだから（文字がないので当然記録には残ってないですが）、文字と音と意味の3つをセットにするのはちょっと引かかりました。 それと細かいことですが、漢字はあくまで中国由来の言葉で、たとえば「金」の一文字をみても「キン」のように一緒に入ってきた読み方＝音読みと、「かね」のように日本古来の音をあてた読み方＝訓読みがあって、それぞれ由来も土地柄もまったく違うところにあるので、言葉を音の響きの違いだけで比較するのは問題もあるんじゃないかな、と思いました。当の中国でも漢字って時代によって読み方が違うし... 現代という一点で、長い年月をかけてさまざまに変化してきた言葉がこの時点でそれぞれどういう意味合いを持っているのか、という比較なので、ある意味では問題はないのですが。 そういうところが気になって、言いたいことが伝わりにくい感がありました。テーマは「語感」というより「清音」「濁音」「半濁音」による意味合いの違いであると感じたので、もう少し焦点を絞ったほうがよかったように思います。

	余談ですが、「mumble」（もぐもぐ食べる、もごもご言う）とか「murmur」（つぶやき、ささやき、ぶつぶつ言う）とか、母音が言葉の意味に関係している言葉もありますよ。
attena in USA 9/16 1:33	Wonderful!? Nice Talk.I agree that. Author can tell us Pronunciation's importance and what he think about Pronunciation. Good Good Good!
やまのかめさん 9/16 13:57	言いたいこともわかりますし、話の起こし方とまとめ方もなかなか。でも例示から結論への持っていく方については、反例あるよな、って思ってたら、作者さん自身がコメントされてしまってますね.....自覚がある上なのであればなおさら、もっと別の書き方を模索できなかったものでしょうか。 これは個人的な癖になるのかもしれませんが、こういう論説的な文章でこのような例示にあうと、反射的に、都合のいい例だけ取り上げてない？と疑った視線を向けてしまうんですよ。例示の後の一般化が、仮説の提示ならともかく結論付けとしては、急だと感じられてしまうんです。 「～である」のような断定的に結論付けるような言い方ではなく、例えば古代の言葉の発生過程について想像を展開させて読者の同調を促していくとか.....いかがでしょうか、書きようはあったと思うのですが。論説的ではなくなってしまうかと思いますが、音感(語感というべき?)自体が感覚的な話ですから、論説一辺倒で押していくのは無理がないかと思います。
結政 9/16 15:12	すばらしいと思いました。 着眼点が、構成も説得力を持たせるもので この枠の中では十分なのではないかと思いました。 この手の物は、すべてがすべてうまく言っているわけではないのですが その点にも一文だけでも触れられればよくなったかと思います。 （もちろん、必ずしも当てはまるものではないが、 と付けてみるとか） もっと言えば、リードの部分は冗長の気が。 1500字しかないのに、この部分を削って 本題に回してもよかったのではないかなあと。 （現状でも若干のオーバーですし） ただ、それを置いても、すごいとおもいました。 くるくる と ぐるぐるは何が違うとはいいにくいけど 確かに違うものですから。
ルンタッタ～ 9/16 22:2	勉強になりました。 「くるくる」ひとつとってもすごい深いですね！
木星/dx 9/17 0:37	なるほどね、そうだよね・・・と思いながら読み進められるのですが、それだけといえばそれだけなんですよ。特に自称物書きさんであれば、「文字」と「意味」と「音」を常に意識しながら言葉を綴っているのが当たり前だと思いますし。だから、新鮮な気づきみたいなものはなかったです。 やまのかめさん言及の「例示後の一般化」過程も、早すぎて胡散臭く感じられ、結局無難に当たり前のことを言うために、申し訳程度に論説ぶってるだけのような印象です。 > 言葉の意味と音とには、密接な関係があるのである。 あるに決まってるじゃないですかと返したくなったり（失礼w） どうせなら合唱曲と絡めて、 > 「言葉の美しさ」に驚くこともしばしば だというその体験なんかを語って欲しかったです。
神無月 9/17 0:48	良い感じです。何となくわかってはいても、こうして体系だてて説明していただけると、新しく見えるものがあります。 文章に過不足なし。シメもしっかりしているしで、コラム系ではかなり高い水準だな、と。

木星/dx 9/17 12:43	んでもあれなんです、一般コラムって、何をどう評価するべきかといったものが自分の中で定まってなかったり（だから自分は、コラムランドに関わって以来一度も書いてない） プロが自分の専門について素人にかみ砕いて伝えるものであり、従って、自分の専門についてのみ書けばいいような気もする。それ以外のものは作品未満の眉唾物と思うし。 歴史コラムは歴史家が、深海魚コラムは生物学者が書けばいい。 今回の作品も、言語学者が書くべきものと思う。でも、重厚なバックグラウンドや緻密な構成がなくとも、＜「文字」と「意味」と「音」の關係に全く意識のいつてなかった人＞が読めばとてもためになる、ことは確かかも知れない。ということは、 童話みたいな扱いでいいのかな？？？ まだよくわかりません。。。
attena in USA 9/17 19:57	やっほーーい、日本語だぜー。 国境の壁を携帯→ネットと超えて、日本語環境に戻ってきました。 まあ、国際料金払ったんで、もうしませんかね(涙 とりあえず、ほんと、気になったというかこれだけは、国際料金払ってでも言っておきたいんでコメントを。 > 木星人さん 専門家じゃないと意味がないに反論。 情報を扱う上において、その正確性がどれくらい必要かという話なんだろうけど、木星人さんの求める ” 常に最高水準 ” (= 専門家) というのは無意味かと。 ようは読者よりもその情報に対して正確な立場にいれば、双方にとって意味のある情報のやりとりができる。 たとえば、英語の文法を教えるとき、幼稚園と中学生と外大生相手では、教える文法の情報としての正確性は全然違う。情報は相互理解を伴って初めて意味がある。 もちろん、専門家であるほうがよい。別に高度な知識を持っているからといって、簡単なレベルの情報交換ができないわけじゃない。(大学の教授の中には、頭が良すぎて大学生に伝える気がないんじゃ？という人がたまにいるけど) ただ、読者が得て有意義な情報を与えるには、その人と同等レベルでも十分なやりとりができる。(さらに極論でいってしまえば、素人の新鮮な考えというような感じで、情報を知らない視点からでも十分に情報を扱うアプローチができる。) このコラムで例えると、自称物書きが多いといわれているコラムランドであるものの、語感というものに対して日常的に意識している人間は少数である。一方で、この作者は外国語曲の発音を調べるという形で日常的に語感を意識する生活を送っている。 そういう意味で、語感に対して人よりも情報を得ていて、また作者自身の情報に対する考えというものもまとまっているわけだから、それを読者に伝えるという行為は、十分意味があるものだ。(そもそも、 ” なるほどなあ ” と思った時点で、読者にとってそのコラムは意味のあるもの) なので、専門家じゃないと意味がないという結論はナンセンスだと思う。(まだ、コラムに対する考えが固まっていないそうなので、これを機に、もう少し視野を広げてもらえればうれしいです。) (とはいっても、個人的には、その人間の認識能力によって他人に与える情報の有意義が決まると思う。頭がいい人間は、どんな内容でも意味のあることを言ったり書いたりできるし、一方で頭の悪い人間だと知っているだけで何も伝えられないもんだ。っていう相当ドライな見方。でも、じゃあ、頭のいい人間ってなんだ？という話になるから、ここでは割愛。)

木星/dx 9/17 20:44	うんだから、 > 重厚なバックグラウンドや緻密な構成がなくとも、< 「文字」と「意味」と「音」の関係に全く意識のいってなかった人> が読めばとてもためになる、ことは確かかも知れない。 と言っているわけです。 つまり、伝えようとする相手によって、伝える側に求められる知識量は変わる。 専門家かそれに準ずるような人が書くべきというのは、読者が不特定多数である場合ですね。 で、ここで、評価するにあたって大きな問題が発生。 例えばこのコラムであれば、島民のためになるかどうかということと、不特定多数の目に触れたときに耐えうるかどうかということ、このどちらにウェイトを置くべきなのか？ 前者にウェイトを置くのであれば、このコラムはそこそこ評価できるコラムだと思う。でもその見方つまり< 島民にとってためにいかほどためになるか？> というのは、ある意味内輪的评价であるから却下するしかない。そこで、文芸における『童話』のように最初から読み手を絞ったものと捉えて、< 一般に言葉にあまり関心のない人> に向けて書かれたものとして評価する、に読み替えるべきなのかな？ ということ。 # ちなみに後者、つまり不特定多数の目に触れたときにの耐久性で評価するなら、私の最初の書き込みのようになると思います。
attena in USA 9/17 21:1	> 木星人さん なんか、予想通り話が平行線をたどっている気が... とりあえず、あと一時間で再びネットがない環境に戻ることになるんで、続きはまたの機会に。 > 作者さん こじんてきに、外国語では、濁音という概念が存在するのかというのが気になった。kとgに関連性ってあるのかなぁ？ っと。教えてもらえればうれしいです。
木星/dx 9/17 21:4	ああそうだ、 > アッテナさん 「木星人さん」はわざとですね？ w であるなら、それに対抗するかたちで「イッパイさん」という呼び方を復活させたい衝動がむらむらと・・・
木星/dx 9/17 21:7	> アッテナさん いやだから、アッテナさんの言いたいことはわかる、ということ。それを踏まえた上で、評価法に一考すべき問題があるなど。
木星/dx 9/17 21:15	あと、本題に関係ないですが、 > 予想通り という発言が気になりますけど・・・まあいいか、些事だしw
木星/dx 9/17 23:5	1 コ追加。 > さらに極論でいってしまえば、素人の新鮮な考えというような感じで、情報を知らない視点からでも十分に情報を扱うアプローチができる 可能性としてはあると思う。でもその種のものは、相当質が高いもの以外は厳しく対応すべきかと。だって、無責任でいい加減で、有益どころか害にしかならんような素人コラム、ネット上に氾濫してるじゃないですか！
木星/dx 9/17 23:16	(五連続陳謝！) 要するに、コラムを発表する場合、新聞等に載せても恥ずかしくないコラムを目指すべきか、それともある種の人々のためになればそれでいいと考えるべきか、と。その何れを採るかによって、このコラムの可否（笑）も決するのではないかと。

神無月 9/18 3:33	> 木星人（笑）さん 参考までに。僕がコラムの評価基準にしているのは、「問題提起」と「納得」です。要するに、自分が調べたくなるくらい興味を惹かれるコラムか、調べる必要がないくらい完成されたコラムが、高評価の対象になる、と。 ちなみにこの場合、「納得」が正しい必要はありません。上手にだましてくれたのなら、それはそれで個人的には高評価。ある種のSFとして楽しめますので。 で、このコラムの場合、濁点が力強いということには思い至っていましたが、それを順序だて、例も交えて話すことで「なるほどな」と「納得」して、ちょっとそういうことを意識してみようかな、とも思えたので「問題提起」も満たしていることになり、なかなか良いなと言う結論に至ったわけです。参考にしていただけると嬉しく存じます。 あと、客観的に見てどうなのかってのは、それほど意味のある評価基準にはどうとも思えなかったり。内輪ネタやらパロディやらも、やりたきゃやればいいのではないかと思います。需要があれば賛美を受けるだろうし、なけりゃ切り捨てられるでしょう。最低限のマナー（字数等）はともかく、自分から見て面白いと思ったら面白いと言ってしまえばいいんじゃないかなあ、と思います。 もちろん、「客観的に見てどうなのか」という評価基準もありだとは思いますが、なんだか僕には良く分からないのです。
木星/dx 9/18 3:54	うん。そんなこんなのなんだからで、一般コラムに関しては自分の中で、今イチ評価基準が定まらないというか、そんな感じ。 ついでにやっぱこれゆっここw > アッテナさん 私は専門家が書くべき発言の後、「でも、重厚な」以降の文で、そうとも言い切れないよな～、というニュアンスのことを言ったわけです。そこへいきなり、 > 専門家じゃないと意味がないに反論 > 専門家じゃないと意味がないという結論はナンセンス とこられたら、論点がずれるわけ。 で、ずらされた場合、相手に合わさないのが鉄則です。 アッテナさんから見たら、私がアッテナさん発言をスルーして、別のことを言い始めたような印象なのかもしれませんが、そういうことです。 # 国際料金請求しないでね

ザ・ワールド

合計ポイント：14 Point

作者：ばっは

作者コメントはありません。

「『世界(ザ・ワールド)』時よ止まれッ！WRYYYYYYYYYYYY——ッ」

後楽園ホールに遊びに来たが、連れは怖がりで何にも乗るものがない。お化け屋敷に入っても、開始5秒前で固まってしまった。高所恐怖症のため、観覧車でも震えている。ジェットコースターなんてもってのほか。もう何にも乗るものはないとあきらめていたその矢先に、禁断のあの乗り物が。

イエス！ コーヒーカップ またの名をカフィ～カップ

私は巧みな話術を使い。

「アレハ～マタク、コワクナイモノデ～ス」と家出少女を騙し売るヤっちゃんの的なノリで連れを魔神機に連れて行く。

開始音がけたたましいコンチェルトを奏で出す。今思えばあれはレクイエム。

ハッ！ハッ！ハッ！イッツアショータイム！

「3秒前、2秒前、1秒前、そして時は動き出す」

ありえないほどの身体のねじれから生み出すパワー。全身の間接を回転させて、音速の速さを生み出す。爆発的な回転と共に加速するカップ かつとべ！マグナム！

膨大な遠心力が私たちの首を後ろに跳ね上げる、三半規管はトットトット。お昼に食べたカレーがザオリクと共に吐き出されそう。

私は飛べる f l y d a d d y f l y

嗚咽を漏らす正面の連れ、どんどんテンションあがってきたぜの私

停止する回りのコーヒーカップ。なぜか止まらない私たちのカフィ～カップ。

その日、私たちのカフィ～カップは伝説となった。

作品に対するコメントを下さい。

投稿者	コメント
で～もん 9/10 7:48	生き残るためには手段を選ばんもんネー——ボクちゃん……ルンルン
弟子 9/10 7:50	最高に「ハイ！」ってやつだアアアアアアハハハハハハハハハハハッ
otacom 9/10 8:2	ボラボラボラボラボラボラボラボラ、ボラーレ・ヴィーア（飛んで行きな）
ばっは 9/10 8:14	「もしかしてオラオラですかーッ！？」 「YES！YES！YES！”OH MY GOD”」 「オララオラオラオラオラオラオラオラオラオラオラ」
木星/dx 9/10 8:32	あのう・・・かな～りつまんないんですけどォ～、子供っぽくて。 何をどうすればよくなるとかの問題デワナク、、 読み終えた感想「あ～あ（溜息）」 ジョジョも１０年以上読んでないし。飽きたからね。
わがし 9/10 13:27	面白い。笑いがとまらん。
key 9/10 13:30	ザ・ワールドと聞いて.hackが思い浮かんだ私は病気かもしれない。 このノリは・・・嫌いじゃない！
エスィフィア 9/10 13:53	ぶっとなでますね。ここまでぶっとぶともうおかしくて。 今くすくす笑いが止まらなくて困ってます。
さむらす 9/10 20:19	すごいですね。むちゃくちゃなのにストーリーはちゃんと作ってある。そして、なにより、コメントたちのテンションが高い。
kiku 9/10 21:9	ごめんなさい。 不意打ちなマグナムにやられました。懐かしすぎです。
わがし 9/10 21:10	これって、フィーーーーット！の作者さんかなあ。 （木星さんがコメントしてるから、違うか・・・） 何度読んでも笑える。仕事中に読みたくないー押しの作品。 コメント陣みんなおかしい（笑

Eisen 9/11 0:35	いやいやいやいや、確かに100万人に通じるかも知れないけれど。日本に限らず海外に目を向ければ、むしろ1000万のオーダーに乗るかもしれないけれども！ ジョジョネタ満載はやりすぎですよ～！ で、こっそり忍ばせてある「かっとべ、マグナム」が……。 ああ、腹が痛い。
やまのかめさん 9/11 6:29	え、えっと、最初の「時よ止まれ」は本文にどう繋ってるのでしょうか……？ なんだか本文のテンションとコメントのテンションに全く入り込めない悲しみを一応自己主張…… ジョジョ読んでないし。 ジョジョネタ満載なのかもしれませんが、コーヒーカップでハイテンションになりすぎた様子をもっと膨らませて、それこそ連れが嗚咽どころか嘔吐するまで(ひでー)がんがん展開したら、それはそれで面白く書けたんじゃないかと思うのですが…… ネタがわからない立場の感想として、描写の踏み込みとボリュームがもっと欲しかったです。
きしと 9/11 7:50	いきなりDIOのセリフから始まり何が起こったのかと思いました（汗 どうでもいいですが、僕も小さいころ、コーヒーカップに乗ったとき、あまりに激しく回され怖くて泣いちゃった覚えがあります。 あれも結構激しくて怖いものなんですよ。最近全然乗った覚えがないですけど
ねがいびと 9/11 10:6	元ネタ知らなくても、このテンションの高さなら十分笑えます。 コメント欄が猛り狂ってますね～(笑)。
わがし 9/11 10:10	もとネタ全然知りません。 でもやっぱりおかしいです！だいじょぶ！
ほろほろ 9/11 11:6	うはははははは！ （あ、ちなみにジョジョはなんのことやら、です） そうだね、 「くるくる」っていうお題は、 これくらいテンションを上げた文章にこそマッチしてるよね。
茜 9/11 15:52	なにをどーやったら伝説になるほどコーヒーカップ回せるんだー！ うーん、文章の流れのよさは、まだ工夫できるかな？ちなみに遊園地で乗るものがないところに無意味に共感です。 > keyさん ごめん。右に同じ。（でも.hack見たことないです。CMだけ見た）
あそびにん LV. 2 1 9/11 18:3	ああ、うん、ごめん、引いた。ジョジョをよく知らないってのもあるけど、ジョジョネタで盛り上がるノリにはちょっとついていけないみたいなトラウマというか……ジョジョネタと分かった瞬間に引き気味になってしまった（つまり、ほとんど最初の一文では既に） ジョジョネタ満載だからここまで受けたって言う人もいるだろうし、ジョジョネタ満載だから引いてしまったなんて人がいてもいいよね？（言い訳） かっとべ！マグナム！があそびにんにとっての唯一の清涼剤でした、。 > .hack ああ、そういえばあれもザ・ワールドだっけ。……ジョジョネタ苦手にも関わらず、瞬間的にジョジョかとか思ってしまったあそびにん。
attena in USA 9/11 19:27	Good parody.But I think this comedy is so so.I hope more fantastic laugh. > あそびにん LV. 2 1 You look this title,you shouldn't open the door,if you doesn't like JOJO's parody. Your coment is lack of delicacy for comeddian. (But my coment is lack of vocabrary and grammer.sorry.) Magnum is very good. I think so,too.

あそびにん LV. 2 1 9/11 20:35	> アッテナさん えっと、言いたいことはわかる。というか、多分そういう突っ込みは入ると思ったし。正直、あそびにんも書き方悪かったと思うけど、単独のジョジョネタ自体が嫌いなわけじゃないんだ。ガーッと入れて、それで最初の数コメントみたいにジョジョネタだ、わっしょい！みたいなノリがついていけなくて苦手。今までネット上でそういうのを見かけるとき、大抵ジョジョネタだけに頼った笑いばかり見かけるしね。最初の全力の一文にその事態が予想されて引いてしまったって感じかな。 コーヒーカップをうおおおって回すのは割とありがちなネタだと思うし、改めて情景を思い浮かべて笑えなかったのもある。 もっとも、水をさす自覚はあったけど、自分のコメントを読み返してジョジョネタにしただけに触れてないのはいかにもまずかった。別に、ジョジョネタだから完全拒否ってわけじゃないから、勘違いさせたことは悪かったと思う。最初から、これも書いておけば……まだ？ で、嫌なら見るなって話だけど、確かにネット上で無秩序にある中から選んでみるようならわざわざ見ないほうがいい。でも、これってあそびにんも含めた人たちによって評価されるために出された作品だよ？ 単に嫌なら見るなって言うのは、分かる奴だけで楽しむから、分からない奴は見なくていい、みたいな物を感じて嫌。 こういうパロディネタの場合、はまると大きいけど、駄目な人には駄目な諸刃の剣だと思うんだよね。分かりきったことかもしれないけど、書いておかないといけないと思ったからあそびにんは書き込んだ。（絨毯爆撃のためといわれたら否定できないけど、それだけじゃないつもり）
木星/dx 9/11 20:53	> 嫌なら見るなって、ギャグじゃなくて？ まさか本気でこんなこと言っちゃったの？ 言うんだったらこれ↓ですよネ♪ 「批判（反論）されたくなければ発表（発言）するな」
忠犬ヤス公 9/11 22:33	このテンション嫌いじゃないですけど、正直腹筋が崩壊するほどではないですね。【僕のもの】つぼには入らなかったみたいです。 でもかっとな！マグナム！は結構好きですね
Perseus 9/12 22:22	波紋を引き起こしてる作品ですね。 なんか遊び人さんと、木星/dxさんと倫理問題みたいになっているし。 作品っていうよりコメントのテンションの高さが面白かったです。
attena in USA 9/13 16:36	>Mr.あそびにん LV. 2 1 Sorry lack of your honor.And is it true Mr? Yeah,you should add the second message. The first one means "This is very poor because it's a Jojo's parody"It's only message not comment. you should had said "This parody is poor because of lack the humor." (For example :Bad comment"I don't like this because I don't like novels"← so you should turn off the page Good coment "I don't like this because I can't find this a value of novels") >木星/dx Comment and Message is not same. If we comment,we must pay attention to our own message not lack the logic. So I pointed that poor message doesn't type on this board, because the author want a dening coment but dening message.

木星/dx 9/13 17:41	>attena in USA あそびさんは「ジョジョと分かって引いた」と、正直な感想を言っただけじゃないんですか？ 作者にとっても、引く人もいるということを知るのは収穫だと思う。作者を甘やかす必要はない。 アッテナさんの考えは要するに、「正直な感想」ってだけではダメ、量より質→絨毯爆撃否定、というですかね。ならば同意できないですね。そのような「作者を甘やかすだけでなく、コメントの敷居を高くして場の活気を損なう」ものは。 デリカシーなんてのを前面に押し出し始めたら、なれ合い道一直線ですよ。コメントの質を高めようという努力は歓迎するべきですが、コメント未満のメッセージを一概に否定するべきではないです。ましてや「嫌なら見るな」なんてとんでもない話。
木星/dx 9/13 18:28	「ああ、うん、ごめん、引いた」by ASOBI がダメなら、 「あっ、好きだ。この作品」by Attena もダメなんじゃないかな。
やまのかめさん 9/13 22:52	アッテナさん自身語彙が十分でないと書かれてたしミスコミュニケーションかなと思っていたのですが.....嫌なら見るな、などと読める文章があったことには正直びっくりしていました。 とりあえずアッテナさんに提案なのですが、日本語が使える環境に戻ってから改めて問題提起されてはいかがですか？ 個人的にも、アッテナさんの問題提起が、パロディにおけるコメディアンへのデリカシーという話なのか、コメントは論理が欠如したメッセージではいけないということなのか、否定的なメッセージは書くべきじゃないということなのか、まさか本気で「嫌なら見るな」なのか、ポイントを読み切れない印象を持っています。アッテナさん自身が、 > But my coment is lack of vocabrary and grammer.sorry. という気持ちを持っている状況、つまり相手にきちんと伝えられるか自信がない状況なのでしたら、なおさら議論の迷走を恐れます。急ぐ必要はないと思いますが。
木星/dx 9/14 2:32	ああ、私もやまのさめさんに賛成。 アッテナさんの文章、今まで発言した以外にも所々引っかかっているんだけど、この状況では突っ込んでいい所なのかどうなのかもよくわからんのですよ。あと「嫌なら見るな」も、英語的なノリに後押しされて、つい出ちゃった発言のような気もするし。
鞆 9/14 5:53	まあ、ザ・ワールドというタイトルだけでジョジョネタかどうかは分かりませんしね。エスパーじゃないですし。The World、普通に英語で世界って意味もありますし。 私はジョジョネタには抵抗はありませんが、腹痛になるほど笑ったという人の気持ちも分かりませんでした。せいぜいが、かっとべ！マグナム！の場所でくすり、ぐらいでしたので。 そして、コメント欄の（最初の方の）テンションについていけなくてちょっと引きました。それは作者さんの直接的な咎ではまあ、ないのですが。
あそびにん LV.2 1 9/14 14:51	>アッテナさん 何気に2文目すごいこと言われた気がするけど...言いたいことは多分了解。コメントの質を高めるように善処する。 >木星さん フォローありがとうございます。でも、まあ、ネガティブなコメントとポジティブなコメントでは相手を傷つける可能性が高いという意味で一緒ではないんじゃないかと。 で、あそびにんが発端ではあるけど、もう話が完全に作品とは関係なくなってきたし、やまのかめさんの提案もありますし、この話は打ち止めにしましょう。最悪続けるなら、掲示板も雰囲気壊しちゃいますし、あそびにんの過去作品のコメント欄でも使っていないので。 作者さん、必要以上に迷惑かけてすいませんでした。

colt 9/14 15:5	ジョジョ読んでません。ネタもかじる程度です。 けれど、本文はまあそこそこ面白かったです。言葉の選び方（特に「三半規管はトットトロ」）にもセンスが無いとは言えません。が、これすらも作者オリジナルじゃないのなら殺意が沸きます。 ぶっちゃけ、どこまでがジョジョネタで、どこまでが作者オリジナルなのかなのか、わからない＝評価できないんですよ。 最初の一文で「ジョジョネタかよ……」と引き、前述した要素で疑り深くなり、コメント四つでため息が出ました。コメントとして意味わかんないですし。
一分間 9/14 22:50	安易なパロは好きじゃないなあ。 最近のジョジョの使われ方を見るに、悲しくなってきます。 なんか全然リスペクトが感じられないし、ただ台詞をネタにしているだけで…… もっと作品を深くまで(以下、長々と講釈が続くので略)
さむらす 9/14 23:9	いいコメントは作品を引き立てる。 この作品を引き立てるのはテンションの高いコメントたちまのでしょう。冷静なコメントが増えてきた今となってはもうこの作品は死んだといっても過言でないかもしれない。
神無月 9/15 0:13	パロディの面白さとは、「このタイミングでこれかよ！」的な面白さであり、その台詞が出てくるだけで面白いものでは決してないと思うのですよ。パロディとは、わかる相手が少なければ少ないほど笑えるもの。誰にでも分かるパロディでウケをとろうなど、少々甘い考えではなかろうか、と思います。 そもそも、この性質のネタならば、パロディにする必要などなかったのではないかと。この作品にとってのパロディとは、おまけ要素的なもので、それが根幹を占めるものではありません。それならば、安易な内輪ネタでウケをとろうとせず、純粋に勝負していただきたかったです。 で、パロディ好きとして一言。そこは魔人機じゃなくて魔装機神にするべきだ！ >さむらすさん コメントで生きる作品は素晴らしいと思います。ですが、コメントで死ぬ作品は、最初からその程度の作品であったと判断するべきではないかと存じます。個人的に。
こっくん 9/15 16:59	元ネタはよくわかりませんが笑えました。 一部の方に引かれながらも、コメントで盛り上がっている人達を見て、純粋に羨ましく思いました。 それじゃあ、ダメなんですか？
一分間 9/15 19:19	うーん……こういう作品にはどこか「媚び」を感じてしまうのです。 文というのは本来、筆者と読者によって作り上げ、昇華されることによって、より良いものになっていくと、私は思います。 なんというんでしょうか……浅い知識しかない哲学バカの言葉で申し訳ありませんが、作者というテーゼと読者というアンチテーゼがアウフヘーベンすることによってさらなるものを産み出すというか……。 この手の作品は、作者と読者が一緒になって……キツイ言い方をすると、馴れ合うだけで、先に向かう意思が感じられないのです。 たかが授業に何を大袈裟な。んなもんおまえの勝手な考えだろう。楽しめればいいじゃないか。 それも確かにごもっともな意見です。 しかし、私はその意見に賛同はできないので、こうして言わせていただきます。 気分を害してしまい、申し訳ありませんでした。
ヤンヤンマ 9/16 15:44	まさかとは思ったけど…やっぱりジョジョ（笑） 面白いけど、なんか勢いに任せてる感じがして物足りないかな。
結政 9/16 16:48	どうとも言いにくい立場ですが 若干やりすぎの感はありますね。 それがまたいいのですけれども。 作者さんもネタ的に万人受けは厳しいかと思っているでしょうし まあ、面白いんですが、引いてしまうというのも 事実ではありますね・・・。

老若男女 9/16 21:1	ジョジョネタは知らないけど、勢いのある文章でテンポのいいコラムだった
にび 9/17 7:29	問題なのは、ネタが「くるくる」と関係ないところではないでしょうか。ジョジョは読んだけど細かくはあまり覚えてないのでよく分からないのですが、「イツァショータイム」とかがくるくると関係してるのでしょうか？ネタの必然性がないっていうか、別にこのテーマじゃなくてもいいというか、そんな感じです。かっとなマグナムくらいかなあ、と思うのですが。
attena in USA 9/17 14:0	>Mr.あそびにん LV. 2 1 I agree that. Sorry to the author.

[TOPへ](#)

金が高騰すれば整体師が儲かる！？

合計ポイント：14 Point

作者：忠犬ヤス公

作者コメントはありません。

金の高騰→錬金術の開発→化学の進歩→医療

の増加→。。。ズブートキャンプの

者満肥↑産生量大の物べ食な質良←展発の良改種品←及普のソリソガオ

量購入→金の高騰→錬金術の開発

大を金師体整↑るか儲が師体整←出続間人る

増加→地球温暖化の

人口増加

・...
・・オイバ

↓
↓

メロヒット

腰を暖め

↓

人増↓地球温暖化バイ

作品に対するコメントを下さい。

投稿者	コメント
key 9/10 10:36	素晴らしいレイアウト...！他のブラウザで崩れていないことを願う・・・ 人口増加と地球温暖化って直接繋がるのかな？とだけ少し。
茜 9/10 11:59	とりあえず、大学の図書館からみたら崩れてました。ざんねん。Safariじゃだめみたい。家でみたときはたしか大丈夫だったから、また家かえって確認しとこうっと。
わがし 9/10 12:51	まじ！？Operaでは右が・・・。 Windowsでみてみたい・・・。

mendel 9/10 13:24	話の中核が〇〇ーズブーツキャンプなのが笑えました。 しかし、くるくるでこの発想とは……。次回の「時」はどんな使い方をするか楽しみです (笑)
鬼 おん 9/10 19:21	まあよく頑張ったね。 中身はちょっとこじつけな気もしますが。
鞆 9/10 19:31	こじつけっぷりが逆に面白いと思います。 有名な「風が吹くと桶屋が儲かる」も相当にこじつけですしね。 しかし問題はそんなことではなく、このタグもまともに使えない、環境によって相当表示 形式が異なる場において、レイアウト勝負を持ち込んだことかな、と考えたりもします。 まあ、よく頑張ったなあ、すごいなあ、と思って、その先は特にないわけですけども。 深読みのしようもなさそうですし。
ペピン 9/11 12:23	あー、お疲れさまです。safariで見てるので途中何がなんやらという感じがです。
茜 9/11 15:56	あらためてIEで見直しました。そーかこれ、エンドレスなのか。 レイアウト勝負作品苦手なので、ちょっぴり流しかけてたのですが。こじつけっぷりはい いと思います。
エスフィア 9/11 22:7	なんて凝ったレイアウト！作るの大変だったでしょう。 こういうこじつけは好きです。〇〇ーズブーツキャンプが一番笑えました。
さむらす 9/11 22:50	冷静に見ちゃうと、金の高騰→錬金術の開発から、おいおいって感じなんです、テーマ をうまく使ってるので拍手ですよ。
Perseus 9/12 21:57	レイアウトが面白いです。 まあこんくらいこじつけてるほうが抵抗なく見られるし。にしてもすごい
あそびにん LV.2 1 9/13 14:53	IEでも右側の膨らみ具合とかギリギリな気はするけど……とにかく、作者さん、お疲れ 様。 ブーツキャンプ→整体師が儲かる、って話はどっかで読んで馬鹿だなあとか思ったこと あるからなあ。下手にネタの中核っぽいところを知っていて損した気分。 地球温暖化→バイオガソリンの普及がこじつけ以前にあまりにもつながらない気がした のはあそびにんだけ？ 別に地球温暖化の抑制にもそんなに貢献するわけでもないよう な……どの道ガソリンだから燃やすわけだし。むしろ、これにつなげるためにその前を石 油の枯渇あたりにしとけばよかったんじゃないかな。人口増加からもギリギリこじつけら れるだろうし。 金の高騰→錬金術の開発はまあ因果関係分からなくも無いかないっかなあと。
pencha 9/13 14:54	エンドレスループ、この「くるくる」の発想はクリエイティブで凄いと思いました。 ただIE6でもレイアウトが少し崩れてしまってた残念…。 綺麗なのを見たかった…。
attena in USA 9/13 16:40	Good art!? but I doesn't catch the meaning.
オリボリ 9/14 3:14	ほんとにくるくるしてますね。 まさにテーマどおりって感じです。
zoo 9/14 21:54	まさかこのコラムiランドでレイアウト勝負をしてくるとは、考えもしませんでした。 内容はコジツケがよいのかななどと・・・ でももっと面白いネタ要素があってもよかったかと
一分間 9/14 22:55	レイアウトは予想の範囲内。 ループがいつまでも続いていく感じが出ているのはいいですね。 こういう渦ってどこまでいったら終わりなんだろうって考えてしまいます。 こんな風なのを極限使ってどこの座標に収縮するかを解かせる問題が、 受験であったなあとしほかしみつっ……
blue-orange 9/15 0:55	発想が面白いです！ちょっと強引かなあってゆう部分もこのレイアウトで吹っ飛ばされた 感じです。
Asagi 9/15 22:24	作者さんのパソコンでレイアウトがどうなっているのか気になります。 突拍子のない展開はアイディアの勝利ですね。でも錬金術の開発→化学の進歩は逆なので は。

ほろほろ 9/15 22:37	> Asagiさん 昔どこかのよみもので、 多くの人が錬金術を編み出そうとした結果、 副産物として多くの化学反応が発見されたという事を 読んだ記憶があります。 時事ネタをなるべく多く取り込んだのがいいですね。 でも整体師だけはちょっとだけ昭和の香り(本人の思いこみなのでアウト)。
わがし 9/15 23:18	みましたよー、素晴らしい！ 間違って、カラーでプリントアウトしてしまいました。 くるくる大成功。いいと思います。 内容もなんか面白いし。
Asagi 9/15 23:22	> ほろほろさん ああ、そういえば！納得しました。
きしと 9/16 2:34	やっぱりまずはこのレイアウトに対してお疲れ様といたいですね。 ややこじつけ的なところも元ネタ（？）の「風が吹けば～」と感じが似てて良いと思います。
やまのかめさん 9/16 13:43	がんばった！
結政 9/16 15:26	レイアウトは、ブラウザによって変わってくるので つらいかと思いますが、あえて挑戦と判断。 頑張りましたね。
ヤンヤンマ 9/16 16:23	すごい頑張りましたね！ それにしても錬金術の開発は何回もする必要はない気が...
老若男女 9/16 21:15	それなりの矢印のスジも通っていて、おもしろい。発想が好き。無限ループになるっていうのもよかった
赤ずきん 9/17 6:18	なんて素晴らしい無理やりな論理展開！！（←ほめ言葉） レイアウトもお見事です。でも大変だったろうなあ。お疲れ様でした。
神無月 9/18 1:46	錬金術が.....。 この跳び方は面白いといえは面白いのですが、一步目が跳びすぎるとインパクトでその後の質が落ちます。この文章の場合はブーツキャンプ。要するに、出落ちということです。後は下るだけ。 どんどん盛り上げていければよかったかな、と思います。まあ、笑いましたが。プフッと吹きましたが。面白かったことは間違い無いのですが！

[TOPへ](#)

金が高騰すれば整体師が儲かる！？

合計ポイント:14 Point

作者:忠犬ヤス公

作者コメントはありません。

金の高騰→錬金術の開発→化学の進歩→医療

の増加→〇〇ーズブートキャンプの
者メ人
満量購入→金の高騰→錬金術の増加
肥大を増加→地球温暖化の開発↓地球温
↑金を人…↓腰を暖
産金口…↓腰を暖
生が人…↓腰を暖
量師↑…↓腰を暖
大体達化を暖
の整発の療医←歩進の学痛め化
物↑るか儲が師体整←出続間入る↓
べ食な
食な
質良←展発の良改種品←及普のンリンガオ

今週のお題

開催中： 時

投稿受付中： 時

Column Land

- いよいよ最終セッションです！
- 「時」のコメント＆投票期間は9月26日水曜日朝6時までです。これで最後、たくさんコメントくださいませ。
- オフラインセッションのお知らせは掲示板370へどうぞ。

コンテスト会

コラム掲載ペ

コラムアーカ

プロフィール

自己プロフィ

BBS

まじょコメン

夏の夜に、紫の雲、細くたなびく

合計ポイント：14 Point
作者：colt
作者コメントはありません。

盛夏。夜。枕草子ではないけれど、蛍の仄光る、月の無い庭。
清少納言の心にも響いたその情景を目前に。しかし、それには背を向けて。
開け放した縁側から上がりこんでくる穏やかな風と、それが運ぶ「ちりちりちり」——高く掠れた虫の声を、体一杯に感じながら。
灼けた畳の匂い、草の蒸れる匂い、湿った土の匂い。いろんな夏の匂いに包まれて。
足を投げ出して、うつ伏せ。両肘を床に立て、その手の平に顎を寄せ。
そうして、飽きるまで。
ずっと、その「くるくる」を眺めるのが、私は好きだった。

思い立ったのが一昨日の夜。出発は今朝。夏休み中の大学生の予定なんて、有って無いようなものだ。荷造りも、地図の用意も、その他諸々も、一日で済ませた。
朝霞む都会のマンションを後にして、電車とバスで計四時間。そこから、二時間とちょっと歩く。目に映る景色は徐々に色彩を増して、やがて青と緑と茶がそれらを包み込んだ。
アスファルトで舗装された道路は、いつしか砂利道に変わり、畦道（あぜみち）に変わり。
両脇で、実を大きく膨らませた稲が、その青々とした葉先を、そよ風に揺らし。
雲ひとつ無い青空に浮かぶ太陽が、じりじりと肌を照りつけ。
あ、日焼け止め塗ってくるのを忘れた、と後悔し始めた頃、私は遂に見覚えのある景色に出会った。
それは、全体が茶色い家屋。木造に茅葺屋根。障子の白だけが目に眩しい。
古臭いけれど、なぜか安心する。
湧き出る、懐かしい記憶。

あれは、小学三年生の夏休みだった。
短期海外赴任が決まった父に、母が付いていくこととなり、私は田舎の祖父に預けられた。
期間は一ヶ月。両親は、そりゃあもう心配していたけれど、当の本人には何の不安も無かった。
それまでも祖父母には年に数度会っていたし、柔和で優しい二人が本当に大好きだったし、そして、何よりも。
田舎の、のんびりとしたあの空間が、たまらなくお気に入りだったから。

田に落ちないようにと慎重だった足取りは、やがて早歩きとなり、いつしか私は駆け出していた。
ポツン、と見えていた茅葺屋根は、どんどんとその質量を増し、大きく私の目の前に。
玄関の引き戸の前に立ち、ゆっくりと息を整え、声を発した。
「ごめんくださーい」

チャイムなんか無い。それが、ここでのルール。かつての一ヶ月で教わったこと、その一、だ。
しばらくして、屋内からくぐもった声で「はい」と返答が聞こえた。
ああ、最後に聞いてから、もう大分経ってしまったけれど、それは確かに。
「どちらさま……」
戸が開き、目が合う。ポカンとしたその表情がおかしくて、かわいくて。私は微笑んだ。
「おばあちゃん、ただいま」
その先。おばあちゃんも、一瞬俯いて、そして。
「ああ……おかえり」
昔と変わらない笑顔で、私を迎え入れてくれた。

夕飯は、ものすごい豪華だった。川の幸、山の幸なら何でもござれ状態。
結局、二回もお代わりをしてからごちそうさまを言い、三人は縁側へと移った。
当然のように、傍らにはスイカが用意されていて。塩を振ってかじれば、シャク、と夏の味が広がった。
それから、そこでいろいろな話をした。主に話し手は私だったのだけれど。
二人の生活は、かつての一ヶ月とあまり変わらないし、なによりも二人は今の私の様子が気になるようで。

おばあちゃん、大丈夫。自炊はしっかりやってるし、たまに届くお米も野菜も美味しくいただいてるよ。
友達も居るし、バイトの人たちも優しいし、何も東京は怖いところじゃ無かったよ。
あ、スイカもういいよ。美味しかった。ありがとう。
ああもう、おじいちゃん。三回も聞かなくても、今は彼氏居ないってば。っていうか、そこはほっといて。

日は沈み、ちりちりちりと高く掠れた虫の声が響き始めた。
そろそろ蛍が飛ぶだろうな、とぼんやり思っていると、おじいちゃんがふと思い出したように言った。
「そういえば、なんでいきなりこっちに来たんじゃ？」
「あ、ええと」
一瞬言葉に詰まり、ぐるりと部屋を見回して——そして、見つけた。
「それは——。うん、ちょっとね」
視線の先には、豚の置物。いや、それはただの置物じゃなくて、中には、きっと。
ほら。その証拠に、豚の鼻から紫の雲が一筋立ちのぼり、ふわふわとたなびいている。

思い立ったのは一昨日、寝苦しい熱帯夜に、ふと目が覚めた私が、最初に見たもの。
電子蚊取りの電源ランプ。
そのあまりに無機質な光が、あまりにも寂しくて。だから、思い出してしまった。
かつて自分が眺めていた、あの「くるくる」の、灰かで優しい明かりを。

こんなこと言ったら、笑われてしまう。だから私は口をつぐんで。
縁側を立て、畳の間へ。
足を投げ出して、うつ伏せ。両肘を床に立て、その手の平に顎を乗せ。
いつものポーズで豚の中身を覗き込み、「くるくる」を確認。
清少納言には悪いけど、今夜もきっと、季節はずれの紫雲を、飽きるまでずっと。

かつての一ヶ月で教わったこと、その三。こうすれば絶対、蚊に刺されない。

作品に対するコメントを下さい。

投稿者	コメント
ルンタッタ ~ 9/10 16:44	文章全体が丁寧な感じで、とても良かったです。
kiku 9/10 21:20	すごく平和な感じ。 何かとドロドロなのが多い中、丁寧な書き方で清涼剤です。 # スペースと を除けば2000字ジャストだ。
エスィフィア 9/11 10:21	くるくるで蚊取り線香は思いつきませんでした。 文章全体に、田舎のよさがあふれていました。 んー平和ですね。
カケラ 9/11 10:32	こういう文章は大好きです。でも、この文章で1500字で何かの作品が書くのは難しいでしょう。字数制限のない状態でこの作者の作品を読みたいです。 蚊取線香を「くるくる」と表現するのに違和感があります。
茜 9/11 19:19	うーん。削れる場所があったと思うんだけどなあ。字数オーバーは惜しい。 ホントにこれで蚊に刺されないのか、ちょっと疑問ですが、くるくるで蚊取り線香は、そういえば！って感じです。確かに。すっかり忘れてたけど。平和でいいですねー。
vicky 9/13 14:47	長くてもするする読めました。やさしい感じがして、ほっとしました。
あそびにん LV.2 1 9/13 17:0	重なってる情景描写とか削っていけば普通に1500に収められた気がするんだけどなあ。雰囲気とか、くるくる→蚊取り線香の発想とか、枕草子の絡め方とかすごくいいと思ってただけに非常に残念。出発から到着までの描写とかちょっと長いと感じたりもしたから、雰囲気損なわずに、むしろ削ってよくなることだってあると思うし。 かつての一ヶ月で教わったこと、その二がすごく気になってしょうがないのはあそびにんだけ？...ひょっとして、見落とししたかな。
ほろほろ 9/14 20:6	後半で読み手をぐいっとつかんでいきましたねー。 蚊に刺されない寝方をオチに持ってきたところの構成のうまさにほれほれしました。 おみごと！ あの～、字数制限はオーバーしてるんですけど、中身がすごくいいから1位に入れていい？ 今回だけは多めに見てあげて、さ？
blue-orange 9/15 0:40	長いですが、文章自体はとても素敵だと思います。 東京生まれ東京育ちの私にとっては、こうゆう環境に憧れみたいなのもあります。平和な感じがいいですね。
木星/dx 9/15 0:54	2000超えは参考記録にしかないと思います。作者さんももちろん納得づくでしょう。
さむらす 9/15 2:45	きれいな描写、それに魅力ある主人公。これはおもしろいですねえ。 きれいな作品なのにリズムが乱れた箇所がいくつかあったように思われた。 まず期間は一ヶ月間。なんかキャンペーンみたいなノリですね。 っていうか、そこはほっといて。っていうかなんて言わないで。 たぶんその二ってのが、この蚊取り線香なのでしょうね。 それにしても、枕草子って必須なのだろうか。理系のひとでも読む人は読むんですねえ。
ほろほろ 9/15 13:23	>木星/dxさん いやホント、おっしゃる通りなんです。 泣く泣く1500字に収めようとして書いてらっしゃる コラムニストさんからすれば尚更、ですよ。 というわけで50点減点したのですが、 その前に100万点獲得していたので結局1位にしました。 次は許さないからねっ！

木星/dx 9/15 13:56	その二はどこ？ 雰囲気はいいんだけど、やっぱりどうも、電子蚊取りの電源ランプが寂しくて思い出す、ってのがわざとらしく思える。 2000字書いたにしては、文字数を有効に使えてないような。だらだらした感じが少し。 もうちょっとドラマ性が欲しい。それから「きれいきれいな話」で終わらない何か。 100万点にはまだまだ遠いな（笑）
あそびにん LV.2 1 9/15 15:15	> さむらすさん その二って蚊取り線香なの？ その三と随分被ってしまっているような気が……。 枕草子が必須って言うのは、この文章に必須って意味？ 一般常識として読んでることが必須って意味？ 前者の意味とすると、別に無くたって構わないといえは構わない。いっそのこと、その辺の表現ばっさり切って字数に納めることを考えるのもありだと思う。ただ、あそびにんはこの枕草子の使い方ちょっと好きだったかな。 後者の意味としたら、一般常識…とまではなっていないとは思う。ただ、これに使われてる「春はあけぼの」の一説とか、中学の国語の教科書にのるような文ではあるから、知ってることを期待するのはそうおかしくも無いと思う。 > ほろほろさん、木星さん 結局、字数オーバーの扱いについては評価する人それぞれの考えに任せられてることだと思うから、中身がすごくいいと思うから入れたい！って言うのも、2000オーバーは参考記録でいいだろうって言うのも、それぞれ好きにやればいいと思う。海のときの掲示板の繰り返しではあるけれど。 もっとも、あそびにんは字数オーバーは前提のルールを違反してるってことから、最初から評価に関係なく票の対象外にするスタンスでもあるし、この作品自体結構削る余地はあると思うから考えは木星さんより。 だけど、それも一個人としてだから、強制は出来ない話だし、自分の判断が正しいと思うのならほろほろさんもそんなに恐縮する必要もないかと。 好みってどうしても分かれてしまうものだから評価が違ってくるのは仕方ない。むしろ、それがちょっと面白いのかも。
ほろほろ 9/15 15:47	おっ、この流れは ほろほろさんにこのコラムの良さを語ってくれ、という流れですね！ （どんな流れだ） ・ 田舎の風景をきちんと描いている - 作者が描かない事によって読者に想像させる作品が多く見受けられる中で、これは作者がディテールを描くことによって読者に想像をさせている。 - 作者の仕事をキチンとしている点で100点。 ・ 現実と虚構の交差。 - まず、細かい描写はとてもしリアルで、蚊に刺されない寝方などはおそらく実体験であろう（と思われるくらいリアル）。 - しかしながらこの話の展開はきっと虚構。 - そんなわけでこの文章は地に足のついた虚構なのです。 - 虚構を虚構として描くのではなく、現実をそのまま描くのではなく、現実に入り込む虚構をきちんと描いていると思うのです。 - その結果、蚊取り線香への郷愁など、読む前には得られなかった思いを読者に届けている。 - この点の文学性を評価して点数100倍。 ・ オチが秀逸。 「文章としての着地点」 「うまい事言った感」 「田舎への愛着」が - 融和したナイスなおちに点数100倍。 これで2000字は安い！ と思うのです。

	前半で500字を削れたとは思っただけでも、ほったユルユルで怒れないのよ。
あそびにん LV.2 1 9/15 16:13	> ほろほろさん おお、なんか丁寧に良さを語ってもらえた！ 何でも言ってみるものだ！ 落ちをあそびにんもものすごく好き。特に、タイトルにも絡んでいる枕草子の使い方。冒頭から落ちへと、本当にうまいこと言った感。 ディテールに関しては、オーバーしたから出来ることって気がしなくもないんだよね。プロットとしてこの程度の長さの話でも、ちゃんとディテールを書こうと思うと結構してしまうから、どうしても読者の想像に任せなきゃ納まらないってのはあると思うし。
kiku 9/15 20:47	字数制限違反についての扱いは個人の勝手だけど、不用意に容認、ましてや投票するような発言はギリギリの文字数と戦ってる人たちにとってちょっと不快ですらあるかもー、とか思ったり。作者側も「参考記録扱いでいいから書きたかった」って感じなんだろうし（というか、そう考えとくのが一番平和だからそうしておく）。
木星/dx 9/15 20:53	正直言いますよ。投票するならこっそりやってほしいね。 100万点とか、100倍とか、意味不明なことを言ってギリギリの文字数と戦ってる人たちの感情を逆撫でするのはやめて頂きたい。一体何がしたいのか。
ほろほろ 9/15 21:0	このコラムを褒めたいんです!! ただそれだけ!! ということで気分を害した皆様、すみませんでした。 以後気をつけます。
木星/dx 9/15 21:10	あんまり気分のいい発言ではないですね。もうどーでもいいけど
pencha 9/15 23:15	綺麗な文章，吸い込まれていくように読ませていただきました。 風景が頭の中に浮かんで雰囲気も好きです。
まじょ 9/16 0:8	作者さんへ 次の投稿では、どうか1500字ルールを遵守ください。 字数が多ければ盛り込める興味も当然ふくらみます。 1500:2000では、フェアな競争になりません。 字数制限と戦っておられる他の作者さんたちが納得されないのは当然ですし、今回のように、せっかく作品に共感してくださった読者さんにまで迷惑をかけてしまうことになります。 いくら心に響くいいお話を書いても、こうした結果を引き起こしてしまっては、元も子もないのでは？ 字数制限の持つ重い意味を、今いちどお考えいただければ幸いです。
結政 9/16 16:24	2000と勘違いでしょうか？ 長いですが、これは一つの作品ですね。 （参考としてみていますが） 枠をはずした世界で書いて欲しい作品だと思いました。 で、1500ベースにできないかと言うと できるのでは？もちろん、描写などが不足してくるとは思いますが それは仕方が無いものとして。 削ろうと思えば削れるだけに惜しいなあ・・・。
神無月 9/16 23:4	字数に関しては、上で山ほど言われているので割愛。傷口に塩塗りこんでも仕方ないのであります。 すげえ良い作品だな、と。丁寧な描写と一つまみのユーモア。心の動きも分かりやすく（蚊取り線香のランプはわざとらしいと言えるかも知れませんが、それもまたわかりやすさという点でむしろ評価。無論、それ以外の部分がいいからですが）、非常に良質なエンターテイメントとなっております。 その二がなんなのかわからなかったり、ちょっとガラガラしすぎだったりしますが、総合的には良作ですな。
赤ずきん 9/17 5:8	穏やかな空気感が心地よい良作です。 何か事件が起こるでもなく、なのに心にじんときくる文章はお見事です。 字数は.....、まあ、気にしない方向でいきましょう。

E i s e n 9/18 1:40	口語なので不適切というわけではないのですが、 「夕飯は、ものすごい豪華だった。」 が好きではないです。 ごめんなさい、大した問題じゃありませんが.....「私」に意識して言わせただけでなければ、つまり単純に作者さんのミスであれば、正しておかなくてはと思いました。 正しくは、「ものすごく」ですよ。 ら抜き言葉のようなものなのかな？ 八年ぐらい前から良く聞かれる用法です。聞くたびに指摘してしまう。 「どうしてもイイよ」なんて怒られることもしばしばですが（泣）。 敢えてのことのような気がします。そうだったらごめんなさいね。
一分間 9/18 3:30	素晴らしい文章です。 字数制限が悔やまれます。 テンポと雰囲気が見事に調和している感じがします。 ホント、素晴らしい文章です。
Tohma 9/18 4:5	良いものを読ませてもらいました。 特に話の展開と文章の繋がりが素晴らしいです。 書き方の参考にさせていただきます。
ばっは 9/18 5:23	綺麗な文章で読みやすく、とても気に入りました。こんな感じのあっさりしていてさわやかなのは大好きです。自分では書けないんですよ～

[TOPへ](#)

恋の○角関係

合計ポイント：13 Point

作者：lily

作者コメントはありません。

わたしが好きなのはゆうきくん。

ゆうきくんがが好きなのはまりちゃん。

まりちゃんが好きなのはわたなべくん。

わたなべくんが好きなのはともみちゃん。

ともみちゃんが好きなのはりょうすけくん。

それでりょうすけくんはわたしのことが好きみたい。

なかなかうまくいかないもんだよなぁ～

作品に対するコメントを下さい。

投稿者

コメント

茜 9/10 12:3	エンドレスで回るのはかまわないんですが、名前並べただけってのもつまんなくないですか？ 舞台を教室とかにして、わたしがゆうきくんをみつめてたら、ゆうきくんはまりちゃんと仲よくおしゃべりしてて、でもまりちゃんがこのまえわたなべくんのげたばこにこっそり手紙入れてるのわたし見ちゃったんだ。で、わたしはさっきからりょうすけくんのあついしせんをかんじてるのよね。って感じにするとか。
ラ 9/10 13:1	私からもひとつご提案を。 円形になる遊びとか取り入れてみたらよかったんじゃないでしょうか。 できればみんなが手を繋ぐようなものがないかな。
RiZEL 9/10 18:29	このネタならシンプルの方が面白いと思いました。お題の「くるくる」も明確に見えますし。 最後の一文がなんとも良い雰囲気醸してますね。
鞆 9/10 19:26	最後に空白行がたくさん入れてあることの意図を勘繰ってしまう、人間不信な私。 わたなべくんだけ苗字呼びなのは、きっと「わたし」とは関連性の薄い男子だから、なんでしょうね。 ループを生み出す構成要素が、偶数個で良かった。
kiku 9/10 22:2	n角関係と書きたまえ。 ここは東工大ゆかりの船なのだよ！
RincO 9/11 5:37	くるくるが伝わってきていいですね！ 単調に書いているだけに、くるくるが浮き出てきます。 よくを言うと最後から2行目くらいでひとひねりあったほうが尚面白かった気がします。
エスィフィア 9/11 10:47	6角関係ですかね。全部で。 アイデアは面白いんですが、ちょっとシンプルすぎかなと。 > 茜さん その書き方はおもしろそうですね。
忠犬ヤス公 9/12 21:9	味気なさは若干ありますが、シンプルで読みやすくて僕は好きですね。 正直私の情報収集能力の高さに笑いました。
無味 9/13 7:6	「くる」って言葉が一切入ってない作品でしたが、 とってもよく伝わりました。
He 9/13 14:27	輪をイメージしての○なのかなと思った。でも、それじゃ角ってないか…。 固有名詞が並んでいたから、いちばん左を縦読みで何かが出てくるんじゃないかと考えてしまった…。そんなネタを仕込むと面白いかも。
あそびにん LV.2 1 9/13 16:18	やっぱり、さすがにこれじゃシンプルすぎるというか味気なさ過ぎるよね。茜さんの言うようにせめて一エピソードくらい欲しいところ。 一瞬、名前でしりとり、とかも思ったけど、絶対やったところで面白くないな、うん。 > 鞆さん あ、確かにわたなべくんだけ苗字……可哀想に。 偶数個でよかったって…マセてなければ大丈夫。多分、きっと。 > kikuさん さすがは東工大生！ > Heさん やっぱり、疑うよね…あそびにんも一応いろいろ試した。何も無かったけど。
こっくん 9/13 18:40	アイディアは好きです。もうちょっとひねりが欲しいですね。 たとえば、順番をバラバラにして、実はどっかで両思いになってたってオチとかがあったほうがよかったかもしれません。
Begonian 9/14 11:47	あれ？最後のセリフが男っぽい、とか、あー、みなさんそうは感じなかった。そうですか。……あつれー？ とりあえず「りょうすけ→わたし」のところだけ「みたい」がついてるのがいい。
zoo 9/14 21:46	私が思ったのは恋の悩み相談所という設定にしたらいかがでしょうかということ。 そうすればいろいろな人の視点で○(n)角関係が作れるだけでなく、来る来るなんておまけつきになったかな

blue-orange 9/15 1:30	発想はいいと思います。くるくるってのがよく出てると思いますし。話をもう少し膨らませればもっと良かったですね。
pencha 9/15 11:28	シンプルなお陰で6人の関係が簡単に分かりました。個人的には好きです。
Asagi 9/15 22:58	> 茜さん JTの広告にありましたね。そういう感じの。 シンプルでいいですね。くるくるしてて面白いです。遊びをいれてみてもよかったかも。輪の中に先生をまぎれこませたりとか。
のろろ 9/16 12:53	こんなうまい具合にまわる関係があったら面白いなって笑えました。
結政 9/16 16:52	途中で・・・・を入れて、すごい数の関係とすればよかったのでは？と思いました。 > なかなかうまくいかないもんだよなぁ～ 一種真理ですね。
ヤンヤンマ 9/16 17:25	最後の一言は悟りの域ですね（笑） すっきりしてて分かりやすいので、変にごちゃごちゃになるよりはいいと思います。
弟子 9/16 22:41	渡辺亮介君、渡辺結城君、だったら少なくとも一組カップルが生まれるのにね
赤ずきん 9/17 5:33	シンプルでいいですね。でもやっぱり茜さんやラ が言ってるみたいにもう一工夫ほしいところ。 最後だけ「みたい」がついてるのは、きっと興味が無いからに違いない。
にび 9/17 8:0	オチが同性愛で「わたしは実は男」とか、「○○くんは、まりちゃんと、ともみちゃんと、わたしが好きだけどみんな○○くんに興味ない」とかかなと思ったのでちょっと拍子抜けでした。やっぱりシンプルすぎかな、と思います。
ゆーべる 9/18 2:6	「普通」の人ばかりだと必ず偶数角関係になるのですね。それを「普通」だということのもずいぶん自分勝手な視点ではありますが。 ここは奇数角関係の実現に期待しましょうか。

[TOPへ](#)

今週のお題

開催中： 時

投稿受付中： 時

Column Land

- いよいよ最終セッションです！
- 「時」のコメント＆投票期間は9月26日水曜日朝6時までです。これで最後、たくさんコメントくださいませ。
- オフラインセッションのお知らせは掲示板370へどうぞ。

コンテスト会

コラム掲載ベ

コラムアーカ

プロフィール

自己プロフィ

BBS

まじょコメン

思い込みの激しい人形のお話

合計ポイント：13 Point
作者：弟子
作者コメントはありません。

彼女達は双子でした。彼女達はそっくりでした。姿、表情、声に至るまで全てが同じでした。そのため、幼い彼女達は時にいたずらをしました。彼女達は両親に自身を入れ替えて登場しました。姉は妹に、妹は姉に成りすましました。両親はそれに何度も騙されました。それを面白がって彼女達は頻繁に入れ替わりました。まるで道化師の表情のように彼女達はくるくると入れ替わりました。

ある日母親は姉を連れて街へ行き、事故に遭い亡くなりました。

父親は悲しみました。妹は姉がいらないことを理解できませんでした。父親はそんな妹の姿を見、哀れみを覚え彼女に一体の人形をあげました。彼女はそれに自分の名前をつけました。

それから、妹は入れ代わりをやめませんでした。食事の席に、大広間に、自分の代わりに人形を置いて行きました。父親はそれを物言わずにただただ見ていることしか出来ませんでした。大切な者をなくした人の気持ちを、痛いほど理解できたからでした。

父親は徐々に人形を愛するようになりました。決して帰らぬ者を嘆くように、もう一人の娘の前でも躊躇うことなく人形を愛でました。亡き娘の名を呼び、彼女の為にパヴァーヌを弾きました。朝も昼も夜も、父親は人形を常に傍に置くようになりました。

妹はそれを快く思いませんでした。それが段々と憎悪に変わっていきました。始めのうちは自分が愛されているという優越感があったのだけれども、もうそれがどうでもよくなるくらい人形が憎くなりました。父親の愛を独占する人形が憎くなりました。

そこで妹は、父親に断って人形を自分の部屋に持ってきました。椅子に座り、『自分』の姿を眺めました。人形は物言わずそこに在りました。妹は徐にはさみを取り出し、人形を切り刻みました。服を裂き、綿を割き、何も言わずひたすら人形を壊しました。

壊し、害し、痛め、破り、刻み、崩し、削り、突き、砕き、叩き、傷め、裁ち、穢し、侵し、割り、捻り、擦り、轢き、踏み、切り、噛み、握り、殺し、ました。

ふと彼女が鏡を見ると、そこには姉がいました。

姉が人形をころしていました。姉が自分をころしていました。姉が妹をころしていました。自分が人形をころしていました。妹が人形をころしていました。妹が自分をころしていました。自分が姉をころしていました。妹が姉をころしていました。人形が自分をころしていました。

声が聞こえました。父親の声でした。父親は誰かの名前を読んでいた。でもそれが誰なのか自分には分かりませんでした。そもそも自分は誰なのか自分には分かりませんでした。自分という概念が理解できませんで

した。もうそんなの誰でもよくなりました。

「そこにいたのか、エリカ」

父親は一体の人形を部屋から持ち出しました。その部屋には何も無くなりました。

作品に対するコメントを下さい。

投稿者	コメント
melonsan 9/10 18:7	うすら寒さを感じてなりません。ほぼ～したで文を終えているのが一役買っているのかも。 壊し、害しの部分は、破壊されていくさまが想像できるような、よりよい順序を考慮する余地があると思います。
茜 9/11 12:20	> 父親は徐々に人形を愛するようになりました。 って言うのは、妹と人形を本当の双子としてどちらも自分の娘として扱ったのかな？と思ったのですが、なぜか人形を常にそばに置いているんですね。このあたりで入れ替わりが起こってるのかしら？ というか、人形を持ち出したら部屋に何もなくなるってことは、そもそも人形を壊したはずの妹はどこに？入れ替わっていたのならどちらかが残るはずだし・・・うーん。 だれかー。ひんとー。
key 9/12 0:49	エリカのネタって嘘と海でもありましたよね、確か。 これはつまり人形の視点なんだと思う。最初の段落の「彼女達～」という文章は、人形が勝手に思っていることで実は双子ではなく最初から片方人形なのでは。 妹＝人形、姉＝人間とすると 事故を起こして死んだのは母親、姉は生きている。 つまり妹視点の人形＝寝たきり状態とかの姉。 妹（人形）は父親の前で入れ替わりを演じているので、自分は姉のつもり。しかし父親が愛しているのは当然姉（人間）。入れ替わって姉になっているつもりの妹（人形）はあっ、自分愛されてる？と一瞬錯覚するけど、段々ジェラシーが燃え上がる。 たぶん広間に姉を連れて行ってもOKなのは、実際は介護ロボットの存在だからじゃないのか。 で、部屋にいて、自分が姉なのか妹なのか分からなくなった妹（人形）は鏡を見ながら自分を切り刻んだ、とか。 ここまで書いたら自信なくなってきた。最初から両方お人形だったりして。アレ？うーん？？？
さむらす 9/12 1:32	ある日母親は姉を連れて街へ行き、事故に遭い亡くなりました。 この一文が気になった。亡くなったのは母だけ？
木星/dx 9/13 1:46	いや、何か皆さん深読みしすぎでわ？ 人形が人間扱いされるうち、だんだん調子づいてその気になってしまったと読むのが自然な気がします。でも、それ以上に調子に乗ってしまったのは作者さんかも。ちょっとやりすぎの印象。結果、薄気味悪さより、わけわかめな感じが残ってしまったと思う

やまのかめさん 9/13 7:51	うーむ、わからん。そもそも本文の語り手は誰？ 第三者的に見えるけど、本当に中立？ 最後に父親が人形を持ち出して部屋には何もなくなったということは、存在していたのは人形だけで、木星さんの言われているように、全部を思い込みの激しい人形の妄想と考えるのが自然なように思えます。 語られている内容のうち、いくらかは事実ということを意図して書かれているかもしれませんが、ですが最後には「人形」しか存在しない、つまり「妹」の存在は怪しい、でも冒頭では「人形」の登場以前の「姉妹」が語られている、となると、やっぱり本文の語り自体が妄想の産物なように思えてしまいます。 お題が「くるくる」というわけで、作者さんは意図して、「姉」「妹」「人形」「彼女」「自分」あたりの言葉の指す内容を途中でくるくる入れ換えてるのかなぁとか想像もしてみましたが、ここまでくると実際に起きたことの描写の部分と妄想の部分とを切り分けることはできそうにありません。 全部を妄想で片付けてしまうと、なんでもありな代わりになんの余韻もなくなってしまうのですが..... ----- で、名前がエリカなのですが、海と嘘の二作品とは繋っているのでしょうか。おんなじ作者さん？ エリカって実はごみ捨て場に捨てられてた人形だったのでしょうか。そうすると前の二作品ってどちらもが妄想話だったり？ そりゃまあ、片方は「夢」片方は「嘘」で筋は通らなくはないのですが(苦笑)
あそびにん LV.2 1 9/13 15:42	どう見ても書き方から視点は第三者だから、叙述トリックなんてあってたまるか！って感じ。でも、ころしたシーンとか完全にぐしゃぐしゃ。わーん(><) 最後の一行を考えると、両方人形が一番しっくり来るんだらうけど、両方人形で主体的に入れ替わられてたまるかい。 というわけで、やっぱり最初は両方人間だということにして、姉は母と一緒に。そういえば、なんで人形につけた名前が姉の名前じゃなくて自分の名前？ 昔のままって意味なら、姉の名前にしとかなないといけないはずだけど。存在として同じになっちゃうじゃん。自分が姉になるってこと？ まあ、結論としては、第三者視点で妄想持ち込まれるとどうしようもない... #さすがに、エリカ関係ないと思うけどなあ。そういえば、エリカってやっぱり妹の名前でいいんだらうか？
茜 9/13 18:42	ごちゃごちゃ考えてみます。 姉と妹が実は一緒に事故にあっていて、姉の方が寝たきりで妹の方が死んでいた。で、妹の幽霊は姉の方がいなくなったと思って、寝たきりの姉を父親が買ってくれた人形だと思うけれど、実は自分の方が父親が姉に買い与えた人形に移っていただけ。 で、ここからはkeyさんの言うとおり人形の暴走？ でもそれならやっぱり人形（寝たきり姉）には姉の名前つけなきゃなあ。うーん。
こっくん 9/13 19:5	語り口は非常に好きです。 このまま自分の頭をぐるぐるさせて理解させないようにしているのか・・・。でもこのままでもいいです。
melonsan 9/13 22:16	入れ替わりに両親が何度もだまされていたのでは、死んだのが姉というのもあやしくなってくる。 街へ連れて行ったのは姉のつもりだったけど、実はそれは入れ替わった妹だったとか。そうすると、周囲の人には > 彼女はそれに自分の名前をつけました。 ように見えるかもしれないけど、実際は自分の片割れの名前をつけただけだったのかも。 上とあまり関係ないけど。 最後のシーンの解釈： > 父親は一体の人形を部屋から持ち出しました。 は、実際の人形のことではなく、精神が壊れたために人形と表現される女の子が連れ出された。 実際の人形は残骸となり、言及するに及ばないので > その部屋には何も無くなりました。

	うーん、一番あやしいのは題名なんだけどな。
結政 9/16 15:36	しっとりとした文かと思いきや・・・。 この落とし方はすごい一言。 この手の物は何が起きたのかを冷静に把握しなくてもいいのでは？ 雰囲気をまずは味わっていけばよいかと。 私は、双子両方ともが実は亡くなっていたと見ましたが それよりも、この薄ら寒さを楽しんでいます。
赤ずきん 9/17 5:12	ぞっとくるこのオチがいい。自己が壊れていく様の描き方が個人的につぼです。 父親が人形を愛するようになるまでの過程にはちょっと無理があるかも。 人間なんて、人形とどこが違うって言うのさ。
E i s e n 9/18 2:49	「ました」の連続に違和感を感じたのが恥ずかしい。 すごいです。その「ました」の連続が、無機的な印象を作っているのも秀逸です。最後の 一行でゾッとさせる、この構成力は感嘆に値します。 「くるくる」が「狂狂」に読めてしまう、そんな見事な物語でした。
ばっは 9/18 5:26	昔の赤頭巾系作品を思い出しますね。（わからないかな？もしかして赤頭巾本人だったら なかなか面白いが） でも少し、長すぎた感がありました。後半の部分が少し省いてもよかったかなあって思っ ました。

[TOPへ](#)

今週のお題

開催中： 時

投稿受付中： 時

Column Land

- いよいよ最終セッションです！
- 「時」のコメント＆投票期間は9月26日水曜日朝6時までです。これで最後、たくさんコメントくださいませ。
- オフラインセッションのお知らせは掲示板370へどうぞ。

コンテスト会

コラム掲載ペ

コラムアーカ

プロフィール

自己プロフィ

BBS

まじょコメン

くるくる一番星

合計ポイント：11 Point
作者：木星/dx
作者コメントはありません。

星も見えない都会から少し外れた街に来て、上りと下りとを兼ねた狭いホームに立っていると、ほとんど同時に、両方向から、快速列車が猛スピードで通過することがある。そんなとき、渦巻くような強風にいいように遊ばれながら、僕はなんだか、目に見えない存在に嘲られているような気分になる。また同時に僕は、微かに速まってくるらしい鼓動に、自らの微弱さと愚かさ、だけでなく、それらをくるんで無に帰するいかがわしさまでも認め、自嘲せずにはいられない。こうして不当に貶められた僕にとって、先の印象は、いつもずっとそうだったのに忘れていただけの、それこそ真実の核心のようにも思えてくる。そして、そのような思いが固まった瞬間、それはまるで自分の愚かさを象徴する《確固たるもの》であるかのように、明確な形をもつ固形物のようなイメージで、僕の心のエアポケットに、すんと落ちる。

列車が見えなくなって、風が収まり、全てが元に戻ってからも、《確固たるもの》の確信は揺るがない。揺るがないが故に、心が揺れる。僕は思わずポケットから財布を出して、中身を確認する。カードは全て、ちゃんとあるだろうか、消えてはないか。札は元通り揃っているか。

だって知らない街では、携帯を持たない僕にとって、財布ほど大切なものはないから。

偽の支点。拠り所――。

そして、そんなことのあった日は特に、コンビニ等で買い物をする際、よれ草臥れた札から順に、きっちり使っていきたいという、どうでもいいような衝動に駆られるのである。きっちりと、自分で制御できるところは制御しておきたいから。地に足を触れていたいから。僕は、嘘であってもそうありたいと願う。

夏の都心の昼下がり、僕は、サウナのような「本物の」外気から逃れ、見晴しのいいファストフードのテラスで、ハンバーガーに身を預けるようにして食べている。あくまでも気分的な話。こうしていると、何だか自分に、確かな拠り所のできたような錯覚が生じる。ハンバーガーによって宇宙的規模に気が大きくなった僕は、そこでふと、まさに宇宙の中心点にでもなったようなつもりで周囲を見回す。すると、まるで愛でるように自分の頭をぼんぼんと叩いているOLや、トレーに商品のみならず財布、携帯他全てを乗せてゆっくり歩いている女学生等が目に入り、頭がくるくるしてくる。僕の宇宙のブラックホールに、僕自身が、吸い込まれていって、なくなってしまうように思える。

例えばそんなとき、ちょっとしたシェイクがあったとする。僕は驚き、身構えると同時に発見する。先のへんてこな彼女たちと僕が、否応なき運命共同体の中にいるということを感じ知らされる。その気付きが、やっぱりここでも《確固たるもの》となってポケットに落ち、そうして僕はようやく我に返るのである。夢見心地ではならない、そんな場合じゃないんだと、認識するのである。だってもし、例えば強盗なんてのが襲ってきたなら、僕たちは互いに助け合わなければならないし、また大地震の一揺れによって天井が瞬時に落ちたなら、僕たちはもしかして、死亡時刻の完全なる一致をみるかも知れないのだから。

そんなことを考えていたらシェイクを股間にこぼしてしまって、その瞬間を、踊りながら店に入ってきた女子高生の集団に見られてしまったのは、うれし恥ずかしご愛嬌。僕らしい失敗――。

《確固たるもの》はあっという間に消えてしまった。

僕はもう一つハンバーガーを買うため、女子高生の列に並んだ。「偽物の」幸福を求めて。

要するに、この都会で、僕の一番星は、まだ姿を見せようとしな。地球の裏側か月の向こう側あたりを、まだくるくると回っていたのである。

作品に対するコメントを下さい。

投稿者	コメント
作者 9/10 7:54	訂正：一つめの「愚かさ」を「愚昧さ」に、二つめの「愚かさ」を「矮小さ」に
茜 9/11 13:35	どうにも、すんなりとは読みにくい文章ですね。いえ、すんなりと読めないわけじゃないんですが、すんなり読むといろいろ抜け落ちていくと言うか。それが良さでもあり弱点だと思います。 上手く理解しきれてません。あたしのエアポケットには、どうにもすんなり落ちてこないみたい。 「一番星」ってなんなんでしょう。たぶん、これ、って言うものじゃなくて、人によって違うおぼろげなイメージのようなものだと思います。
jabberwock 9/12 15:53	私のエアポケットには割とすんなり落ちてきました。 確かにすんなりとは読みにくいけれど。。。 きっと作者さんと似ている人種からなのでしょう。 私も茜さんの言うように作者さんの考える「一番星」が気にかかります。 「確固たるもの」の源泉の虚構性を自覚している僕にとって、「一番星」もまたフィクションでしかないと思います。そのような僕（作者さん）が「一番星」の存在を肯定しているのはどういう態度からなのでしょう。
茜 9/12 16:33	> jabberwockさん 感覚的なものもあると思うので、難しいかもしれませんが、どんな風に呼んだのか、よかったら教えてもらえませんか？ 文章自体は面白いし、ヒントみたいなものがあれば、もしかしたら分かるかも、と思ったので。
あそびにん LV. 2 1 9/13 14:45	必死にしがみつけないと目が滑っていく.....それで何度も何度も読み返す感じ。これが国語のテストで出てきたら厄介な敵になりそう（実際、これと30分以上（下手したら1時間近く）にらめっこしてたり） で、内容としては.....正直、あそびにんも未だにうまく理解出来てない。jabberwockさんのコメントをちょっと手がかりにしてやっとハンバーガーに未を預けるようにして食べるの意味が分かった気がするくらい頭がうまく回らない。 《確固たるもの》がキーだとして、文中の言葉で言えば「自分の矮小さを象徴する」もの（作者の訂正による）。ポケットに入った後、財布の確認したり、地震の想像したりしてるところから、なんというか今こうして何も起こっていないのが虚構で、自分に何か不幸なことが起こらないはず無いという確信みたいなものなのかな。 一番星は...最後二段落分だけ読んでると女の子っぽい気がするんだよなあ。妙に女学生、女子高生に反応してる気がするし、失敗時にも恥ずかしだけじゃなくてうれしついでるし。「偽者」の幸福って、ひょっとして失敗を種におしゃべりをしたい、下手したら笑われたいとかなんじゃないかとか.....なんか、それだったら嫌だな。 うん、やっぱり分かん。 一つ思ったのは、一個目のシェイクって、どういう意味なんだろう？ ハンバーガーショップだから最初は飲み物だと思ったけど、驚き、身構えるの意味がいまいち分からない。別に、今まで無かったものが出現してるなんてことでもないんだし。とすると、地震等の揺れ？ 二回目は明らかに飲み物としてでてきてるから余計に混乱してしまう.....。

jabberwock 9/13 18:29	あらゆるものが人為的な産物である（ように見える）都市のなかで自分の根拠＝一番星をどこに見つけるかという感じに読みました。 ぼくは虚構の中であえてこれこそが自分の拠り所だと思い振舞うけれど、やはりそれはすぐに瓦解していき揺るぎない自分の根拠《確固たるもの》とはなりえない。僕の一番星は姿を見せようとしなないという感じです。 自分の拠り所がなにもないという事実のみが《確固たるもの》であり、それを認識して偽の支点を求めるところまでは理解できるのですが、僕の一番星は「偽物」なのか、それとも「本物」なのか、「本物」だとすると作中の僕にしてはoptimisticな気がしますね。
jabberwock 9/13 19:0	> 茜さん 読みはこんな感じです。 普段都市で暮らす分には気に留めないけれど、ふと都市の外側「星も見えない都会から少し外れた街」にでたとき、僕は自らを含めその虚構性に気付いてしまう「目に見えない存在に嘲られているような気分になる」。そんな根拠を失った僕の横を快速列車（＝都市の象徴）が通り抜ける時、虚構である都市の圧倒的巨大さに対し僕は微弱さや愚かさを感じてしまう。 そんなとき僕は、『《確固たるもの》がないこと』こそ真実の核心であり《確固たるもの》であると思う。僕はそれを認識した上で、あえて偽の支点を求めようとする。偽の支点が通貨やハンバーガー（都市のメタファー）との接し方であるというのが、非常に上手いと思います。ハンバーガーはモスバーガーかフレッシュネスな感じです。私もモスバーガーで妙にシャキッとすることがあります。。。 偽の支点を得た僕は「宇宙的規模に気が大きくなった」のですが、すぐに「へんてこな彼女たち」の存在によって、また場の虚構性に気付いてしまい堪えられなくなってしまいます。 そんなときにシェイクを見ると。。。ここはあそびにんさんの言うように私も少しわからないのですが、シェイク＝混ぜ物＝運命共同体というメタファーなのかな。。。と。 とにかくシェイクをきっかけに、自意識レベルより生命の危険という別のレイヤー（強盗・地震）のことに思いをはせる僕は《確固たるもの》に無事着地するのですが、「シェイクを股間にこぼす」ことをきっかけに「うれし恥ずかしご愛嬌」「僕らしい」というように、また自意識レベルに戻ってしまい再び「『偽物の』幸福を求めて」しまうのです。 読み辛いかもしれませんが、私こんな感じに読みました。
茜 9/13 23:57	> jabberwockさん > あそさん ありがとうございます。お2人のコメント読んで、なんかちょっとずつ分かってきました。 > 『《確固たるもの》がないこと』こそ真実の核心であり《確固たるもの》あたしがまったく理解できなかったの、ここなんですよ。何であの時点で「確固たるもの」を見つけてるの？と。 こういう風に考えれば、少し分かる気がします。 自分の矮小さに気付けたことに対する自信みたいなもの、かな？ シェイクって、飲み物のシェイクなのか比喻のシェイクかどうか分かりませんが、あたしは「突然の災害」みたいな感じに読みました。シェイク＝揺らすみたいな。
木星/dx 9/14 2:20	二つの「シェイク」は言葉遊びのつもり？ 多分、違う意味だと思う。せめて一つめ「シェイク（揺れ）」くらいにしといてほしいですね（これで合っていたならの話） 二つの《確固たるもの》って、結局確固たる気づきであるが故に心を不安に陥れていますよね。一つめのは僕を財布チェックに走らせ、二つめのは折角の宇宙的気分を壊し、共に偽の拠り所の虚構性を暴いている。つまり、心の拠り所となり得るものではなかったわけです。 でも幸いにして、 > あっという間に消え る程度の確かさであるから、さらに確からしくて、そのまま心の拠り所となり得るようなもの（一番星？）で払拭できる可能性みたいなものが残されているような気もして、僕はそれを求め続けてしまうのではないだろうか。但し、 > 地球の裏側か月の向こう側あたりを、まだくると の表現からも知れるよう、それも結局は虚構に過ぎないと薄々気づきながらも、矛盾にまみれて生き続けるしかない人間の悲しい性として、空を見上げ、一番星を待つ・・・

	とりあえずこんな風に読んでみました。。。
kumaa 9/16 2:49	強盗や大地震が都会的な《確固たるもの》の前提を壊し、別の《確固たるもの》を作り出すのであれば、《確固たるもの》がないことに《確固たるもの》を見いだす僕もやはり《確固たるもの》ではなく、条件付きのものということになる。 しかし現実には強盗に襲われたり、大地震に遭ったりするわけではない。僕にとって《確固たるもの》がないことが《確固たるもの》であるということは今のところ変わらない。 ちょっと大雑把すぎますが、こんな感じで読みました。一番星が「本物」か「偽物」かというのは興味深いですね。
結政 9/16 16:18	オーバーかな？と思って調べてみたら 1500ぴったり。くそっ（こらこら さくっと読めないのですが、それもまた一つなのかなと思いました ただ、コメントを見ないと、理解できなかった自分が居たので いろいろつらいのかなあとも思いました。
弟子 9/16 22:21	知っていますか？ 本当は昼間でも星は空に輝いているんですよ。 ただ、太陽の光が邪魔で見えないだけなんですよ。 で、太陽の光から一番初めに抜け出した星を、一番星というんですよ。
やまのかめさん 9/17 11:49	すいません、まだちゃんと読めた気分がしていなくて感想未満といった感じなのですが (^^; 考えたこと思ったことをつらつらと。 「一番星」は、冒頭の「星も見えない都会」を受けて、都会から少しはずれば見えてくる(感じられる)ものがあるけれども、都会の中ではまだその感覚を持つことができない、それを「一番星」という言葉で例えているのではないのでしょうか。《確固たるもの》それ自体を指す言葉ではなく、ここではつまり、都会では確信できない《確固たるもの》、ということではないかと。 《確固たるもの》について。前半での話ですが、語り手は「自分の矮小さを象徴する《確固たるもの》」という点においては確信していて、それは揺らいでいませんよね？ 語り手を不安にさせ財布の確認へと駆り立ててはいますが、自分の矮小さの自覚それ自体は《確固たるもの》であり続けているように見えます。良からうと悪からうと、このように行動の動機を中心となる確信こそ《確固たるもの》ではないでしょうかね。 後半でも、《確固たるもの》が指しているのは、「僕」と「彼女たち」とが否応なき運命共同体の中にいるということに気付いたことですよね。「夢見心地でいてはならない、そんな場合じゃないんだ」という認識が《確固たるもの》。もっともこれはふとしたきっかけですぐに消えてしまうわけですが、やっぱり前半と同じく、自分(もしくは自分も周りも含めて人々)のある種、弱さ頼りなさに関しての確信であって、持続するのであればやはり語り手の行動の動機になるもの。良からうと悪からうと。 それに対して、「偽の支点。拠り所」とは前半では財布、後半ではハンバーガー。これらはその場その場での物質的な「拠り所」ということになるのでしょうか。こう読もうとすると「偽の」というよりは「仮の」と言ったほうがしっくりはくるのですが。 都会だとそのような拠り所を容易に得ることができてしまう。そのために逆に《確固たるもの》、自分の矮小さについての確かな自覚、を得ることがなかなかできない。そんな内容なのかなあと読みました。 本物・偽物という話では、最後の最後で「「偽物の」幸福」という表現が出てきたことにはピンときませんでした。これはつまり、拠り所を持つこと = 幸福、という意味が込められているのでしょうか。さらに言えばここで「偽物の」という言葉が括弧付きで強調され、同様に括弧付きで強調されているのが後半冒頭の「「本物の」外気」になるんですよ。この辺りの対比構造もピンときていません。 あとは、「シェイク」は最初に読んだ時にはやっぱり戸惑ってしまいました。これはやっぱり言葉遊びなんではないでしょうか。「一番星」という言葉が最後に突然出ていたように感じられたことも含めて、一読した際にはすんなりとは読めない点でした。

木星/dx 9/17 13:38	なるほど。財布・ハンバーガーは「仮の」拠り所とした方がしっくりくるかも。そして、一番星こそが「偽の」拠り所。。。 僕は「偽物の」幸福を求めて、「仮の」拠り所であるハンバーガーを買う。でも僕は「本物の」幸福が欲しい。それは「仮の」拠り所からは得られない。「真に」《確固たるもの》からも得られない。「偽であっても仮ではない」《確固たるもの》を拠り所にするしかない。それが一番星なのか？！！
jabberwock 9/17 18:21	> > 茜さん > 『《確固たるもの》がないこと』こそ真実の核心であり《確固たるもの》 > あたしがまったく理解できなかったの、ここなんですよ。何であの時点で「確固たるもの」を見つけてるの？と。 > こういう風に考えれば、少し分かる気がします。 > 自分の矮小さに気付けたことに対する自信みたいなもの、かな？ 確かになぜ彼が「『《確固たるもの》がないこと』こそ真実の核心だ」という程までに至ったかは唐突かもしれないですね。作者さんとしては彼にもう少し具体的な記述を与えることによって、そのアイロニカルな姿勢に至った具体性を表現することもできたのかもしれない。ただ私としては、作者さんは「僕は～だから僕には《確固たるもの》がない」とすることによって、僕の愚かさを限定的かつ硬直的なものにすることを避けたかったのではないかと思います。 > > kumaaさん 「条件付」という言葉は非常にしっくりきますね。「条件付」じゃない《確固たるもの》こそ「本物」の一番星なのでしょうけれど。。。 > 《確固たるもの》がないことが《確固たるもの》であるということは今のところ変わらない。 私としては、確かにこれは《確固たるもの》ではあるけれど、少なくとも胸を張って言えるものではなくて、アイロニーというかニヒリズムに近い姿勢のように思うんですね。前提に大きな諦めがある。 だからこそ最後の一番星に対する楽観的な姿勢、くるくるという音の響きを含め気になります。『女子高生の列に並んだ。「偽物の」幸福を求めて。』という文章からは吹っ切れた感も感じますが。
jabberwock 9/17 18:28	> やまのかめさん > 木星さん 「仮」か「偽」かどちらがしっくりするかは、まさしく読み手の生き方が問われているのかもしれないですね。「偽」の方がしっくりくるのは良くないですね。。。弟子さんのコメントが浸み入ります。
jabberwock 9/17 18:43	> 結政さん テーマとしては最近のある種の小説と似ている気がしますので、その辺りの前提条件みたいなのがわかっていると一応解釈した形にはできると思います（もちろん作者さんは全然違う意図で書かれたのかもしれませんが。。。） 前提条件を知っているかどうかと言う意味では確かにつらい面はあるのですが、やはり作者さんの巧妙かつ挑戦的な作為が非常に伝わってきまして私はそこに驚きました。

車の止まるとき

合計ポイント：11 Point

作者：やまのかめさん

作者コメントはありません。

くるくる、くるくる

くるくる、くるくる

「まゝわれまわれや糸車
しいろくなろうと、くうろくなろうと
紡いでいくのがあたしの仕事
こうして車を回してくのさぁ」

くるくる、くるくる

くるくる、くるくる

「あゝおく染まればほつれて細く
かぼそい糸で、どこまで頑張るつもりかね
だけどあたしにゃ知らんこと
あたしゃぁ車を回すだけさぁ」

くるくる、ぷつん

――その時、どこかで誰かが息絶えた

車は再び回りだし、白い糸が紡がれていく

くるくる、くるくる

くるっ、くっ

「まゝたこいつが絡んできたよ
いっつも、余分にひつついてきてさ
この赤い糸はなんだろねえ
邪魔はぁしないでほしいねえ」

隣の老婆が指を入れ、赤い糸を解き放す

――その時、男は女を突き放した

車は再び回りだす

くるくる、くるくる

くるくる、くるくる

「あぁれま、いいつのまぁにやら
くうろく染まってまっくろけ
あたしゃ黒いのぁ嫌いだよ
そろそろかるねえ、ぷつんといくかね？
いひひひひ」

隣の老婆がはさみを入れる

――その時、どこかで誰かが息絶えた

次の糸が取り出され、車は再び回りだす

くるくる、くるくる

くるくる、くるくる

「今度はいつまで白いかねえ
太くも細くもどうにもおなり
知ったことかいそんなこと
あたしゃぁ車を回すだけさぁ」

くるくる、くるくる

くるっ、くっ

「なんだろうねえ、この赤い糸は
なんでこんなに絡むのかねえ
そんなに一緒にいたいのかねえ……」

老婆は指を伸ばし、糸をより合わす

――その時、男と女は一つになった

車は再び回りだす、糸を一本に紡いで

「まぁねえ、いいんじゃないかねえ
なるようにしかぁならないものさね
あたしゃ知らんよなんにもね
あたしゃぁ車を回すだけさぁ」

くるくる、くるくる

作品に対するコメントを下さい。

投稿者	コメント
He 9/10 12:36	運命の糸車。なんかいいなあ。 話は怖いんだけど、おとぎ話っぽい雰囲気が好き。
エスィフィア 9/11 10:9	少し長いなと感じてしまったところが残念ですが、妖しげな感じがいいですね。ばあちゃんが完全な他人事として糸車をまわしてるところがすごく好きです。
茜 9/11 20:13	うーん、怪しげな感じはいいんだけど、割とそのままというか、ひねりがないというか。この、「その時、」って説明いちいち入れなくても、もしかしたらよかったのかも。
忠犬ヤス公 9/11 23:20	怪しい、怖いときたらやっぱりお婆さんですよな。 そして糸といったら運命の赤い糸。 セオリー通りといったらセオリー通りですが、第三者によって僕らの運命を決定付けてるところとか、面白いと思いました。 糸(僕ら)はお婆さん(運命)に抗うことはできないのでしょうか！？ (以下、私事) 最初車と聞いて、自動車かと思いました。あ～この人も免許合宿に来てるのかな～とか、僕みたいにエンストばかりしてるのかな～とか思いながらタイトルをクリックしたら・・・別世界が広がっていてびっくりしました。
えむえむ 9/12 1:14	魔女が人生を操っているとしたら、それに抗うような糸も見てみたいです。
あそびにん LV. 2 1 9/12 15:6	> あたしゃ知らんよなんにもね なんて、他人事っぽく回すスタンスを取っているはずなのに、はさみ入れるなあああっ！ というか、いろいろと構いすぎだああっ！！ と思ったんだけど、よくよく読んでみると、赤い糸を外すところと、はさみを入れるところは隣の老婆で、その次は老婆になってるんだね。ひょっとして、糸車が大量にあって、老婆も大量にいる感じなのかな？（もっとも、人に大量を使うべきじゃない気もするけど） それなら、人って一杯いるはずなのに一本しかないのか？！なんて疑問もいっぺんに解消されるからいいか.....最初と最後だけ我関せずのスタンスをおいてるのがすごい気になるけど。でも、車の描写的には、やっぱり一つなんだよね...うーん。 雰囲気は出来てると思うんだけど、いろいろと読んでて疑問が浮かびすぎてる気がする。
pencha 9/13 14:49	文章の不思議で怪しい感じを楽しめました。 「くるくる、くるくる」が文章全体にちりばめられていて、この文章のリズムを作っている感じが印象的でした。
きしと 9/13 22:12	すごいリズムのよい詩で、感激しました。 現実と糸車を重ね合わせているのも面白いです。
colt 9/14 14:41	発想が素晴らしい。糸車で人の運命をくるくる弄ぶ様子が、テンポ良く描かれていました。 けれど、繰り返しが多いので、後半は少々くどい印象も。一つ、流れを変える文章を挿入したら、また違う感じになっていたのでは、と思います。 あそさんの、 > 糸車が大量にあって、老婆も大量にいる感じ 想像したら.....うわっ。 「くるくる」の音は、もはや轟音ですよな。

ほろほろ 9/15 10:40	発想がすばらしい！途中の書き込みもますます！ 惜しむらくは、最後の老婆のセリフ。 どうにも、尻すぼみで終わってしまった感じがします。 このへんが「割とそのまま」「疑問が残る」というような モヤモヤを残してしまったのかな、と。 さて、最後はどんなオチが良かったのでしょうか？
あそびにん LV. 2 1 9/15 14:30	> coltさん くるくるって擬態語だし、別に音無くたっていいでしょ。老婆の呟き以外ほとんど無音の世界かなあと思ってた。 もっとも、広い部屋にたくさんの老婆と糸車が存在していたら、その光景は酷く怖いというか気持ち悪いというか...嫌なイメージであることは間違いなさそうだけど。 > ほろほろさん 基本的に老婆の台詞って、最後のに限らず、矛盾が一杯な気がするのはいそびにんだけ？（老婆一人としてみた場合の話だけど） そもそも、これを読んでみんなどういうイメージを浮かべてるんだろう？ あそびにんは、暗くてそんなに広くない部屋で老婆が「一人」で糸車を回してるのかなあ、と最初読んでイメージした。 だからこそ、最初と最後でただ車を回すだけだなんてスタンスを強調してるのに、結局茶々入れまくりってのが不思議でしょうがなかったんだよね。
八剣 9/15 20:33	運命の三姉妹、と読みましたけど。 ネット版こらむらんどでそんなのがありましたから。 こっちにも参加してますね、その作者さん。 老婆からその隣の老婆へ(さらに?)隣の老婆へと行って最初の老婆に戻ってくる会話の順序もくるくるまわっているのかな、と読みました。
木星/dx 9/15 21:39	ネット版では「するする」「みるみる」「くるくる」ときた後、老婆たちが「くすくす、くすくす」って笑い出すんですけどよね。 で、どーしても比べてしまうわけで。 やっぱり「くるくる」一辺倒は単調な気がしました。
作者 9/16 4:49	ちょっと気の早い作者コメントです。 話に挙がっているネット版こらむらんどでの作品は「希臘の糸」ですね。リンクを貼っておきます。 http://www.columnland.net/contest/0505/thread/thread2.html 「希臘の糸」の存在には気付いたのは結構あとになってからだったのですが、 あああ、やっぱり比べられてるう.....orz 作者コメントにはちょっと早いのですがいち早く告白してしまいますと、今回の作品を書くにあたってとっても意識していたのは、同じくネット版こらむらんどでの作品「船頭の唄」の方だったりますのですよ。 http://www.columnland.net/contest/0507/boat/boat1.html もともとお題「くるくる」には回る運命の車という題材を書こうと思っていたのですが、その書き方として憧れの「船頭の唄」を目指してみよう！と、運命の糸を紡いでいく糸車という構図で全体を糸繰り唄として構成してみようと書き始めたのがこの作品の原型でした。 なんですけど、書き始めてから「希臘の糸」の存在に気付いて、これじゃ「希臘の糸」を題材に「船頭の唄」を書き直してるだけみたいじゃないかぁと頭を抱えてしましまして、なにか独自色を出せないかと、くるくる回るだけではなくその回りが止まる時に注目してお話を構成できないかとか軌道修正を始めたのですが..... そこからがですねえ.....老婆は一人でいいんじゃないかとか、やっぱり複数の方がいいんじゃないかとか、もっと説明が必要だよとか、やっぱり唄だけの構成にしたいなぁとか、それじゃわかりにくいでしょとか、もっと起伏をつけなきゃとか、老婆の胸のうちも揺らいでるんだよとか、いや老婆は達観してるでしょとか、台詞はやっぱり唄っているようにとか、いやもう作者がぐるぐる。 「割とそのまま」「疑問が浮かびすぎ」「後半は少々くどい」「尻すぼみ」 あああああ、耳が痛いですう.....orz

	で、その、あのう、老婆の台詞の部分がですね、結局唄っているように書いたつもりなんですけれど、唄に見えます……？ いえ、あの、これだけ聞いておきたくて、コンテスト終了後だとコメントが少なくなってしまうので、しゃしゃり出て参りました次第です。よろしければ引き続きコメントをお願いしますm(_ _)m
木星/dx 9/16 4:56	「船頭の唄」も感じましたよw というか、以前にも彼を意識したような作品があったような。ああもう、作者バレバレですな（ ^^ ）
木星/dx 9/16 4:59	>老婆の台詞の部分 はビミョーかな。 抑揚をつけたようなしゃべり方とは感じるけど。
作者 9/16 5:14	反応早っ！ > ああもう、作者バレバレですな（ ^^ ） あうう……orz
木星/dx 9/16 5:26	（三連続御免） んでも、くるくるの挿入の仕方は、単調ながらも、すっとぼけたコミカルな感じが新鮮ではありました。老婆の言葉と好対照。この作品はこの作品で、「希臘の糸」と「船頭の唄」をミックスしただけでなく、そこからオリジナルな糸を紡いだなという印象。
木星/dx 9/16 5:27	あ、はさんでしまったw
結政 9/16 14:31	なるほど。 お婆さんの廻す運命ですか……。 地獄少女のシルエットのおばあさんを想像しました。 ああいう感じなんでしょうね。（わかりにくい）
神無月 9/16 21:56	長いというわけではないのですが、なんだかテンポが悪い感じ。「くっ」で止まるどころとか、お話としてはいいのですが、唄的な視点で見るとどうにも。マザーグースとか読んでみるといいかもしれません。
茜 9/17 13:52	> 結政さん 「くるくる」でそれを思い浮かべました。 だってきくりがくるくるくるー。って可愛かったんだもん！ > 作者さん あたしも思わず比べてました。希臘の糸の方と。 ある作品を元に別の作品を作るのは、ただの真似にならなければいいと思います。でも、難しいですよ。なかなか。真似になってしまいそうで。 なんか凹んじゃってますけど、がんばれっ。
E i s e n 9/18 2:1	怖ろしいほどのデジャヴーを感じたと思ったら……。 これはモイライなのかな、それともノルンなのでしょうか？（笑）
ばっは 9/18 5:40	お婆さんにインパクトがなかった。 ホラーにしたいならもう少し描写を多く入れて欲しかった。発想はおもしろかったから、この手の作品はテンポより緊張感とか怪しさが欲しかった。明るい感じにするのならお婆さんにしないほうがよかったかな

[TOPへ](#)

茨姫

合計ポイント：10 Point

作者：茜

作者コメントはありません。

くるくるまわる
糸車を見ていた
紡いだ糸
気まぐれに触れて、ちくり
小さな痛みを覚えたあの日から
あたしの時間は止まったまま。

くるくるくる。
くるくるくる。
ベルトの外れた糸車が空回りする。紡いだ糸の端が続くその先を、ぼんやりと眺めていた。薔薇の寝台に、白くほそい四肢をなげだして。
あの日。
壊れた人形のように、思考を止めて、生きるのを止めて、全ての時間を切り離れたあたしに、残ったのは突き刺さった小さな痛み。ちくり。傷跡はいつしか熱を伴って、甘やかに緋の色を流し続ける。滴り落ちた雫で染めた糸の続く先には、もしかしたら、あなたがいるのかもしれない。そんなことを想いながら。
運命の女神。あるいは邪悪な魔女。
あたしにこの痛みを与えた貴女に、あたしは感謝もしているし恨みも抱いている。痛みを知らなければ、あたしの時間はまだ幸福なまま続いていたかもしれないのに。

でも、もう、知ってしまったから。

そうしてこの痛みに魅了されてしまったから。

あたしは全てを切り離して、小さな痛みに溺れ続ける。
あれからあたしが見続ける夢は、精製された宝石のように美しく、誰にも邪魔されることのない純粋な想い。あなたでさえも届かない至高の場所。あたしの、あたしによる、あたしのための物語。
王子様は、もう、迎えになんか来てくれなくていいと思う。時計の針が動き出したら、きっと、愛という名の痛みがあたしを引き裂くだろう。少女の夢は汚れた血で塗りつぶされて、もう、二度と、戻らない時間。
空回りし続ける糸車。
くるくるくる。
紡いだ糸は途切れたまま。
あたしの時間は、止まったまま。

作品に対するコメントを下さい。

投稿者	コメント
あそびにん LV. 2 1 9/11 15:18	あ、あれ、茨姫の細かいストーリー忘れてしまった……糸車でちくっとやっちゃって眠りにつくとかでいいんだっけ？ 眠っている姫の心情解釈みたいなものかな。ちょっと歪んでる感じもするけど、雰囲気はよくでてると思う。 思考を止めてなんて言ってるのに全力で思考してるじゃないかとか、姫が眠った後も糸車って回ってるのか？（確か糸車は魔女の罠とかじゃなかったっけ）とか、無粋な突っ込みはおいといて（もうしてるじゃないか）、そもそもこれのテーマって痛みなの？ 時計の針が動き出したら、とか痛みよりもそこから来る時間が止まったことの方が茨姫にとっては大事だと思ったんだけど。痛みがものすごくクローズアップされてることにちょっと違和感を覚えたかな。その割に、痛みがどうなんだってのがよく分からなかったし。
茜 9/11 18:35	１００年眠ってるうちにもう王子様なんかいらねーよってひねくれちゃったお姫様。（要約してみた） なんか、時間が止まってると言うより空回りしてるみたいな印象でした。思考も一緒に空回り。ベルト元に戻したら、時間も思考も元にもどるのかな？
key 9/11 23:33	茨姫＝眠れる森の美女 ですね 物語は確かお姫様が生まれた時に、１２人の魔法使いが祝福に来るんだけど、呼ばれなかった１３人目の魔法使いが怒って王女が１５になった時に糸車の針に指をさして死ぬと呪いをかける。まだ祝福が済んでいなかった１２人目の魔法使いが、さらに王女は死なずに１００年眠るという魔法をかける。心配した王様が王国から全ての糸車を焼却処分にするんだけど、王女１５の誕生日の時に１３人目の魔法使いが糸車を持ってやって来る。王女は糸車は危険と知ってるけど、生まれてこのかた糸車を見たことがなかったので、騙されて糸車の針に指を射して眠りについてしまう。王女を不憫に思った王様は、１２人目の魔法使いに頼んで城中の人が王女と一緒に眠るように魔法をかけてもらう。そして１００年後すっかり茨に囲まれたお城に王子様が…って話だと思う ダークな思考のループにはまったオーロラ姫…でもそれまでは籠の鳥のように育てられてたんだもんなあ
vicky 9/12 15:52	考えようによっては王子様との結婚生活より眠り続ける方がわずらわしくなくていいかもしれないと思いました。
さむらす 9/13 0:30	なぜかこの少女を愛せないのはなぜだろう？ ううむ、愛って痛いものなのか。
カケラ 9/14 23:23	ひたすら夢の世界に生きるお姫様、今で言う引きこもりよりひどい状態ですね。 王子様が来た瞬間、ハッピーエンドとなるのかバッドエンドとなるのか気になります。
さむらす 9/14 23:29	作者さんは、松村栄子さんの「至高高所」を読みましたよね？ その作品の匂いを感じたのはぼくの気のせいかしら。
さむらす 9/14 23:32	まちがえた。至高聖所でしたね。
結政 9/16 16:27	これ、そのままなんでしょうか？ 原典の記憶がいい加減なので、どうにも言いようが無いです。 ごめんなさい。 ただ、字数が余っているので 止めた時間が動き出すところとかを書いてもらえれば もっと面白かったのではないかと思います。
朱雀 9/16 22:40	元ネタの分からなかった私はコメントを呼んでから「おおっ」と納得。 雰囲気がいいですね。不思議な空間が、読んでいると周りに作られていったようでした。 ところで、眠れる森の美女は、ハッピーエンドだったように記憶しています。というか、あの手の童話は一般的にはハッピーエンドになるように変えられてますよね。でも、この作品を読んでみると、なんだかバッドエンドになってしまいそうな予感がひしひしと。続きが読んでみたくなります。 字数が余っていることから、結政さんに同意。この先が気になります。

ふじさき 9/17 0:30	細かい所まで気を配ってかいてるなあ、と感嘆。 こんな文章書ける作者が羨ましい・・・。
茜 9/17 0:51	> 結政さん、朱雀さん あたしだったら、この先はないほうがいいなあ。 なんか、王子様が来ちゃうと、花畑を土足で踏みにじるみたいで。 もしくは、「なによ寝むいのに。あんた邪魔」って言ってまた眠りそうで。
赤ずきん 9/17 5:17	茨姫を読んだことの無い自分は間違いなく負け組。 痛みを恐れて痛み to 逃げる。矛盾しているようで整合性の取れた幸福な時間がくるくる と。 綺麗な文章に引き込まれてしまいます。
attena in USA 9/17 18:19	crooked princess. I cant't feel the charm to her. I think she should be staing indoor forever ,don't be awaked ,please ,for Princess and for prince

[TOPへ](#)

「くるくる」まじょコメント

変化球お題、くるくる。

それこそめまぐるしく、いろんなくるくるが乱れ飛びましたが、全体を眺めると、この擬態語に、どんな動詞をつなげるか、が作品の分かれ目となったように思えます。

当然のことながら、くるくる回るとというのが、いちばん多い発想で、ちょうど半分の 22 作品を占めました。いっぽう、回されるなんて受け身は性に合わないやいとばかり、くるくる回すと能動的に攻めたのが 9 作品ありました。大勢とは違う視点を選ぶ、良きかな。

さらに、回る/回すを避けて、くるくる変わる/変えをとらえたのが、7 作品と 3 作品。

そもそも、くるくるとは？ と言葉論としてとらえたのが 3 作品。

主流の発想から離れるごとに、作品数が減っていています。つまり、離れた発想をできた作品は、それだけでユニークだと言えそうです。

だから、少数派から見てゆくことにしましょうか。

あ、そのまえに目次を。

言葉論

くるくる変える

くるくる変わる 小さなものから大きなものへ

くるくる回す 小さなものから大きなものへ

くるくる回る

1. 時は回るよ、くるくると
2. 私は回るよ、くるくると
3. ものみな回る、くるくると

言葉論

Column of the word and the sound

くるくるとぐるぐる、どう違う？ 響きの違いは子音の違い。実例を織り交ぜて展開していった、そう無理はないのですが、最終段落がにわかに「言葉の美しさに心せよ」と説諭調になってしまったのが、ああ、ここ時間なくなっちゃったのかなあ、と残念でした。

歌に乗せた時の言葉。どんな響きがきれいなのか。ドイツ語とイタリア語の違い。その

あたりへつなげてゆくと、ありきたりの一般論から離陸してゆくことができたのでは？

Twiddle

つめこんでみました、さあどうですか？

外来語が多いんだなあと眺めつつ、ストーリーのなかにはめこんただけでは、まだワザとしてはハンパで、バックル・タックル・ミラクル、韻を踏みつつ軽快にリズムよく展開できると、おおってなるのでは。

早い者勝ち！

これ、別に「くるくる」じゃなくても……（いぢわる）

勉強になりました、って、みんなが言ってくれたから、良いのかな。おもしろかったぜ、と言ってもらえなかったから負けなのかな。正直、一等賞獲るとは思いませんでしたよ。何はともあれ、おめでとう!!!

ただ、ウンチクコラムも作者さんの価値観が重要、という立場に立つ私としては、さいごの「いやな時代になったな……と思うのは私だけでしょうか。」という無責任なうっちゃりが、納得できません。あまりにありきたりですし、本文中からは出てこない感慨なのは。

いやな時代だぜ、と正義派の新聞記者ぶってみせるより、おもしろいよね、ニンゲン社会のしくみって、というスタンスのほうが、ものごとを調べてゆくとき、よりのびやかな探査ができるのでは、と考えます。

好奇心はものごとの肯定から始まる——はずですよ。

くるくる変える

くるくるから「回る」でなく「変わる」に行って、さらにそれを能動の「変える」でとらえた少数派さん、3作品エントリーです。

時差

時計の針を少しだけ戻したり進めたり。「くるう」×「くるう」という含意だったでしょうか。

一家に時計がひとつしかなくて、ラジオ番組が楽しみで、と昭和レトロな雰囲気を感じました。そのあたり、時代設定について伺ってみたい気が。

ダークサイドを抜け出して、作風チェンジのまっさいちゅうなののでしょうか、赤ずきんさま。

クロ

ラジオ番組聞き逃しどころではない悲しさ。

ほんとは、ぼくだってわかってるんだよね。クロがもう戻ってこないってこと。だけど、すぐには現実を受け入れられないから、しばらく、こうやって悲しみをやり過ごしてるんだ。

みなさん、「子供の純粋さ」一直線で読んでますが、私はこんなふうに、悲しみを乗り越えてゆくプロセスの一つとして読みました。

幸せの窓辺で

冒頭の「虫の音鳴り響く夜に」って、けたたましすぎませんか。目覚まし時計じゃないんだから。「虫の音すだく秋の夜に」とか。

そして、チャンネルを変えたりインターチェンジを降りたりの「くるくる」がせわしくなくて、虫の音以上に、ふたりの仲をじゃましているのが残念。

あとは、あなたとわたし、ゆっくり時を重ねてゆく。大好きだからこそ、別離の時を思ってしまう。そんな叙情がしっとり奏でられて、とても好感を持てました。願望実話??
ぬくもりの恋しい季節が、もうすぐやってきますね。

くるくる変わる

くるくるから「回る」でなく「変わる」に行った比較的小数派さん、7 作品エントリーです。変わったものの小さな順に並べてみました。

まずは、表情が変わるもの 2 作品。

ある日……

「来る来る」と言いつつ、表情がくるくる変わる楽しい女の子（妄想系）。

妄想系と感じたのは（ぱぁっ）という効果音からです。三次元の女の子は、こんなに無邪気じゃない気がする。あくまで一般論ですが。

裏テーマは「くるくるパー？」という深読みがあったくらいに、ライトなタッチの、こ

れはこれで味わいでしょうか。

来る来るきっと来る逢いに来る

こちらはタイトルで「来る来る」、1行目で「くるくるした瞳」、これにてお題消化ほぼ終了。いや、くるくる変わるストーリー展開も含まれてるのか??

みかさんが、ぱっと笑ったり、むくれたり、だんだんまくあちゃんに似てきてしまっているような気がして、それはたぶん作者さんの好みが反映されているのかもしれないのですが、キャラクターの描き分けという点にかんがみてちょっと心配。どうなんでしょう、編集会議メンバーのかたがた。

お次は、変化が全身に及ぶ3作品。

くるりの前と後

逆上がり。くるりとできた瞬間、まわりの景色が変わる。それはたかだか 50 センチの視点の移動に過ぎないけれど、できないことが一つできるようになった、進歩というものを実感できたよろこびの瞬間。

たぶん、言いたかったのは、そんなことなのかなあと推測しつつ、それを最後の1行だけに託すのではなく、もう少しふくらませたら良かったのでは。

思い込みの激しい人形のお話

エリカはふたご。姉の名か妹の名か、それすらわからず、くるりくるりとマスカレード。

みんないっしょうけんめい考えたけれど、正答がひとつなのかなこれ。どうとでも、好きに解釈してくれい、と言われているような気がしてなりません。すべてが正しく、すべてが間違い。何しろ、かの真っ白け作品の作者さんですから。

変わる一日 変わらぬ日常

ふたごだなんて、そんな非日常に託さなくても、自分というものは、けっきょく良くは分らない。陽気な自分と陰気な自分、どっちがホンモノ、悩ましい。

そんな気分の移り変わりの綾をリズムよく展開していただきました。

特段、凝った言い回しなどは使われていないのですが、そこが等身大で共感、ラストの「笑って凹んで 今日も行く」が、ポジティブで、いい余韻です。

表情、全身と来て、さいごは周囲の状況が変わります。

季節の変わりめ

これは詩、なのでしょうか。

何だか、新海誠さん風の映像を、いっしょうけんめい言葉で追っかけて説明しているような、はじめに映像ありきの印象を受けてしまったのですが。

たとえば最初の3行。

ぼくはある草原で横になっている。

周りに人はいなく、かたわらには数輪の待つ雪草が花を咲かす。

向こうのほうでは、白いワンピースを着た女性が絵を描いているようだ。

草原、待つ雪草、白いワンピースと立て続けにイメージが注ぎ込まれて、まるで絵コンテのよう。詩であるならば、たとえば白いワンピースの質感（木綿の素朴さ/レースの可憐さ）といったところもつかまえない。

言葉ももっと練りたいですね。仮に原文→正しい日本語→より美しい（と思われる）日本語の順に並べてみると

「周りに人はいなく」→「周りに人はおらず」→「(いないことは雰囲気分かるから描写しない)」

「待つ雪草が花を咲かす」→「待つ雪草が花を咲かせる」→「待つ雪草が咲いている」

リクツでなく感慨を伝えるものであるならば、うつくしい言葉を使う、というのは最優先事項だと思うのです。

助言を求めて

いや、人生そのものが移り変わり、輪廻転生するのです、と。

会話の軽妙さが味ですね。

ただし、もちろん、こうした楽屋オチは規定違反です。コメント欄で楽屋オチ肯定ともとれる意見が出ていたので、この機会に方針を明確にしておきます。

1500字を超えても、いくらでもいい作品が書けるように、ウチワネタであっても、いい作品はありえます。けれど、それはやめましょう、というのが、ここでのルール、通称「100万人コード」です。仲間うちの理解によりかかる安易な手法を許容することで、より広く発信しようという精神を蝕む可能性があるからです。

たとえばプログラムって何？ 宇宙って何？ そういうことを相手の素養とニーズに合わせて、きちんと説明できる理系学生であってほしい。それがこの国に託された建国の精神です。

低きに安んずるのはラクだけれど、それは我々の目ざすものではない。ほんとに小さな

島だけれど、いや小さな島だからこそ、その島だけでしか通じない言葉は敢えて意図して排除することで、つねに世界へと発信する気概を自覚的に持っていたい。

そうした願いのもとに設けられたルールです。御理解いただきたく。

くるくる回す

くるくるから「回る」へ行かずに「回す」を選んだ、ちょっと少数派さん、9 作品エントリー。

ここも小さなものから大きなものへと並べてみましょうか。

指に絡めて

いきなり問題作品です。

髪の毛を指にからめて「ごめんな」。こんな男許せなーいと響きわたる女声合唱。おろおろと弁護を試みる男声パート。

いや、なかなか楽しい「うらみ部屋」と化しました。作者さんが、どう弁護に走るのか楽しみ楽しみ。

この子の正体は猫なんです、という逃げはナシですからねっ。

アンティークオルゴール私。

髪の毛の次は螺子（ねじ）。

おお、（この作者さんにしては）わかりやすい光景。

彼と同じ半音低いオルゴール。その偶然の暗合が、オルゴールに過去へと溯るタイムマシンの力を与えたのかもしれませんが。オルゴールに足音にチャイム、と音だけでストーリーを組み立てたところが、少女の思いの儚さを感じさせて、ファンタジックでした。

祖父の言葉

螺子の次は万華鏡。

お説教モノを好感度高く作るのは、とてもむずかしい。人生は万華鏡さ、というおじいさんの言葉に説得力をともなわせるには、おじいさんの人生か、私の人生か、どちらかはきちんと手触りを伝えたかったところ。でないと、万華鏡のイメージがきれいなだけに、よけいそらぞらしく響いてしまいます。

ある夏の夜の出来事

万華鏡の次は新聞紙。

本文より、コメント欄のほうがコワかったです。

せっかく本文はシンプルで、かわいらしささえ漂ってるのにい。

エリも、好きに生きてよかったんだよ

新聞紙の次はろくろ。

手びねりの一輪挿しの味わいのようなそぼくさで、ラスト 1 行の名セリフにしんみりです。

ミニ添削：「現在、予断は許せないが、とりあえずの危機は脱したそうだ。小康状態と言えなくもないと思う。」

→ 予断は「許さない」が正しい。

小康状態は、医者判断することですし、会う前から勝手に「思う」はおかしい。

ふだん使い慣れない言葉は、多用するとボロが出るから、慎重に。

車の止まるとき

ろくろの次は糸車。

ノルン。運命の糸を操る 3 人の老婆。その神話イメージで読んでいたので、コメント欄に「大量老婆」説が登場した時は、びっくり。

うん、その路線で作り直したら、ワグナーのオペラを現代風に演出した時みたいに、新しい光景が見えてくるかも。

本歌取りの作品として作られたであろう作者さん、本歌を踏みにじってたくましく前進してくださいませ。

くるくる旅行

糸車の次は自転車。

行ってらっしゃいと送り出したくなる、飾り気のないトーク。

こぼれ話を聞きたいと思わせるため、敢えてシリーズ風に仕立てたのかなと勘繰ってみたのですが。

花火

自転車の次は花火。

あっちのワーキヤー乙女にも、こっちのツンデレふてくされにも、くすぐりの笑顔を振りまいてマメな野球少年ですね～。あと何人、いいかたをキープしてらっしゃるのかしら。

じつは「ごめんな」の彼より、タチワルかもしれませんよ、ご用心——と、敢えてナナメに読んでみました。

くるくる、売ります。

さいごは、なんと人間を回します。

「あ～れ～お代官さま～」と、うれしい(たぶん)悲鳴の町娘たち。懐かしの江戸文化と微細な商品説明が、悪徳越後屋さんのもとでマリアージュ、この結びつきがすてきでした。

力Fを加えると回転数がどうこうなって、ともっと理系理系するとより楽しかったか？

越後屋独占販売のお代官様帯、殿方の好き心をくすぐって、商売繁盛めでたく完売。おめでとう!!

くるくる回る

最終パートは王道、くるくる回る。きれいに全体の半分を占めました。

回るものの違いによって、3つに分類してみます。

1. 時は回るよ、くるくると

まるで、次のお題を先取りするかのように。8作品エントリーです。

残酷だけど、優しい神様

輪廻転生。時代劇での別れから生まれ変わって交差点での出会い。余白を読ませようという手法は、余情を表現するには適切だけれど、今回は話の骨格がSFっぽいだけに、ちよっと謎が残りすぎた感。

携帯の記憶を消す動作も謎だけれど、もっともっと大きな疑問。前世の記憶を抱えたままで、人はしあわせになれるのでしょうか？

歯車は回り続ける

愛をこのまま保つために、今すぐ窓からダイビング。

よく分からないリクツでした。途中のトークは考えながら語っている高校生っぽさが出ていたのですが、ラスト、むりやり終わらせた感。

at one's leisure

謎作品が続きます。

「君」って「時」だよね、と当て推量しつつ、その正体をぼかすことのメリットが分かりません。あ、そう来たかという謎解きの爽快感もなく、「時」を敢えて擬人化することで、見えてくる新しい視野も特に感じられず。

人の心の持ちようによって、早く過ぎたり、ゆっくり流れたりする時の速度の可変性のようなものは、うっすら伝わっては来たのですが。

それとも答え（あるとして）は全然違うところにあるのでしょうか。

茨姫

時を止めて、いつまでも少女のまま。

これは、ずっと分かりやすい。時を止めるという設定そのままに、ストーリーのほうも凍ったまま。糸を引いて滴り続ける血の残像が鮮烈です。

血を流すこと、それは少女がおとなになること。けれど目覚めるのはイヤ。「痛みに魅了」という表現は、そうしたいらだちを表現したものと読んだのですが、どうだったでしょうか。

一人称視点なので、「薔薇の寝台に、白くほそい四肢をなげだして」が違和感でした。何だか上から見下ろしているようで。

his loop (and perhaps, ANOTHER side of "hers")

同じく物語の世界でも、こちらはサイバー空間の気配。

「学園」というひとことが「あっちだよ」と鮮明にフラッグを振りつつ、物語のなかへ。そして繰り返す。いつまでもいつまでも繰り返す。

うつし世もまた同じであろう。そんなメッセージでしょうか？ 厭世観と受けとってよいのかな？

それはともあれ、「常用車」は誤字ですね。

夏休みも中盤。

現実逃避に疲れたら、どうぞ現実へ。

さくっと日常を語ったところが良さだと思ったのですが、おもしろくないっ、と言われてしまいましたね～。残念。

みなさん、物語中毒かな？ 時には、さらさらお茶漬けもいいですよ。

くるくる一番星

著者にとって《確固たるもの》とは何なのか、200 字以内で説明せよ——そんな悪夢を見そうな。

ああそうか、作者コメントでこの問、解いてくださいね、って投げておきましょうか。作者さんも解けないかもしれない。これと1時間もにらめっこしたあそびにんさん、エライです。

ふーらふーら風来坊くんの自分探しの物語が今ここから始まる。長編小説の書き出しと読みました。

金が高騰すれば整体師が儲かる！？

運命がループしてゆく。

視覚で勝負。おみごと&おつかれさま。

2．私は回るよ、くるくると

そう、自分が回ってしまうのです。気持ちいいのか悪いのか？ 6 作品エントリー。

weather cock

まずは、かわいらしく風見鶏。

リズムのよさ ○

はっぴいえんど ○

童謡テイストで好感度抜群です。コメントも賑わって、こまかなフレーズの調整を真剣に考えてくれたり、こういうの作者さん冥利に尽きるのでは。

猫くん、嵐にも負けなかった風見鶏さんに銅メダルをかけてあげてくださいね。良かつ

た良かった♪

摂政の苦悩

同じく童話めいて、でもこちらはラストが謎。

えーと、国じゅう全部荒野にしてしまった。つまり国そのものを滅ぼしてしまった、というオチでしょうか。

苦悩

お題は愛？

言いたいことを好きなだけ言って去った感。

読者が聞きたいか？ をちゃんと考慮に入れて、語り手を意識したトークにしたい。

残り3作品、なぜかコーヒーカップのオン・パレードとあいなりました。

まわる一日

2日酔いで遊園地は、たいへんだろうなあ。で、そのあともトンボに山手線に、さいごは地球と、くるくるの大安売りが、潔くて心地よかったです。

Beauty of The...

近づいては、また離れ。でも、いつも笑顔で。

人生の舞台にもたとえられそうな、せつないストーリーです。

夢オチへとミスリードするベルの音が効いていました。

ザ・ワールド

言葉の勢い、カフィ〜カップが飛んでゆく(らしい)ラストの寄せ、ともにインパクト大。

でも、元ネタとの位置関係が危惧されて賛否が分かれましたね。むしろ否が多数派か。その判断は私にはできかねますが、ひとつだけ質問です。

更新直後に、この作品に入った4つのコメントは、どういう意図だったのでしょうか。作

品を盛り立てる、いわば囃子方（はやしかた）といった軽いノリだったのでしょうか。

4 名のかたがたが、お互いに友人で、しかもそのひとりには作者さんという状況が見えていた私からは、少なからず不可解な行動でした。

作品それぞれが独り立ちして読み手の評価を仰ぐ、という点において、この島は真剣勝負の舞台です。だからこそ匿名性の大原則を立て、作品の並び順を ID によって変えるという面倒なことを敢えてしてまで、一つ一つの作品が公平に評価されることに気を配っています。そうやって緊張感を保つことが、一分間さんおっしゃるところの「馴れ合い」を防ぐための生命線と考えるからです。

もし、友人の作品だからエールとともに送り出そうぜ、などというような安易な意図がこの 4 つのコメントに働いていたとしたら、それは公平性保持の精神に抵触する疑いありと考えます。真剣に個人で戦っておられる他の参加者のかたがたは、賑やかな取り巻きの引き連れての作品登場をどう受けとめるのでしょうか。

それとも意図など特にない、ただの偶然だったのでしょうか。TA として次世代を育てる重責をになっているかたがただからこそ、敢えて問いたい。4 つのコメントの意図は何だったのですか？

3 . ものみな回る、くるくると

最終パートは、いろんなものが回ります。8 作品エントリー。

動力源としては、やはり風が人気だったようで。

かざぐるま

都会へ行く男の子。残るアヤミちゃん。

ふたりを結ぶ、儚い風。

叙情は感じたけれど、「恋愛感情は持ってない」なんていうふうに、ナマの説明をしないほうが、もっとこの幼い恋が自然に見えたと思います。

風輪

おんなじ状況ですね。男は出て行く、女は残る。

でも私は泣かない。溢れる思いは風の便箋に流してしまおう。

心情と風景を重ねようという工夫はよいけれど、黒い布は、さすがにやりすぎたか。

ときに風輪って、何か年輪を重ねてゆく、というイメージだったのでしょうか。

低き土地

風車シリーズその3。ネーデルランドは低い土地。

最初の会話は脳内会話を一票。

実体験かな～と思うのですが、ちょっとあれこれいじりすぎて、せっかくの実話の良さが消えてしまった感。

ぐるぐる回れ

風車のラストは、たかしくん。

まるで絵本をめくるように、次から次へと永久機関探しの旅へ。

特に雨戸を持った父の影から始まるラストが良かったです。台風へと突入する勇ましさを応援。おだいじにっ。

夏の夜に、紫の雲、細くたなびく

蚊取り線香を焦点に、都会で挫折を味わった娘が、ちょっと田舎へ戻って休憩。

茅葺き屋根にスイカ、ていねいな描写で「田舎の良さ」は伝わってくるけれど、何だか都会人に都合の良いすぎる田舎、という気もしてきて。天の邪鬼かな。

若者の足で2時間、さいごは畦道って、車も通わないわけで、それはもうたいへんな過疎地ですね。茅葺き屋根って、メインテナンスたいへんでしょうし。

そんな田舎の ユートピアでない部分 も陰翳づけられると、より深みが出たように思います。

たとえば、

> 「夕飯は、ものすごい豪華だった。」が好きではないです。

と言う指摘がありましたが、ひなびたそぼくな暮らしのなかで、せいっぱい孫娘をもてなす、というふうであれば、「豪華」や「川の幸、山の幸なら何でもござれ状態」とは違う描写になるのでは。

あと、前回に引き続いての字数オーバーとなってしまったわけですが、今回ののは、どうしてもこの字数が必要、とまでは言えないでしょう。

「田に落ちないようにと慎重だった足取りは、やがて早歩きとなり、いつしか私は駆け出していた。」この段落から始めても、いえ、むしろここから始めたほうが、しっかり読者を引き込める。これで777文字削減できます。かつての一ヶ月の説明を、どこかにさりげなくはさんでも、お釣りが来るはず。

さいごは人が回ります♪

恋の○角関係

「わたしが好きなのはゆうきくん」って、自分を最初に挙げてるところが、いかにも子供視線で良きかな。

シンプルなもの、子供のつぶやきとして自然。これで「n角」とか書いてあったら、どんな幼稚園児だ！

子供たちは成長を拒み、その場で回り、そして、歌い続ける……

こちらも子供。でもピーターパン（←前回の答えらしい）

とぎれとぎれの声は、またガイアの囁きかなと思ったのですが、違うのかな。どうやら、この世界では進化は嫌われているらしいのですが、地球の逆襲??

ときに「ビジョン」と表現すると未来形の印象が強くて、せっかくのおどろおどろしさが飛んでしまうので、「幻影」くらいでいかがでしょう。

永久回転奇行

「アハハハハ」をリズムに、ひとつひとつ情景を見せてゆく。そのワザがみごとでした。

これを映像にしたら、いかにカメラワークを工夫しても、最初からモロ見えになってしまふところ、文章だから、徐々に徐々に正体が明かされていって、爆笑の光景へとヒートアップしてゆく仕掛けです。その点で、「文章」という表現手段の特性を存分に活かした怪作でした。

ブラボー！ 僕らのマッチョ!!